

統計

病院サービスに対する入院患者の意識調査のまとめ

Study of staff service for hospitalized patients and its summary

對馬 優子
Yuuko Tushima

後藤 千枝
Tie Gotou

要 旨

平成18年9月、院内業務サービス改善を目的として、入院患者の院内スタッフに対する意識調査をアンケート方式によりおこなった。その概要をまとめたので報告する。

はじめに

当院では医療サービスの向上をめざし、入院患者様に例年院内スタッフの業務サービスに対する意識調査をおこなっている。今年度も患者様への倫理的配慮のうえ、アンケート調査を行った集計結果を報告する。

・ 調査方法

アンケート用紙（資料1）を各病棟に30部配布、ご協力いただける患者様に無記名で記入していただき、封筒に入れ、アンケート回収ボックスにて回収する。

・ 調査期間

平成18年9月25日（月）～10月6日（金）の2週間実施

・ 調査結果

全病棟12部署に各30部配布依頼したところ、配布総数347、回収総数246、回収率71%であった。

記入者は、本人193 / 78.5%、代理52 / 21%、性別は、男性130 / 52.8%、女性107 / 43.5%、年齢は（表1、図B）、診療科は（表2、図B）に示す。

・ アンケート集計結果

表～、図1～8、に示す。

・ 結 論

砂川市立病院の管理として対応すべきこととして

1. 適切な人員確保と配置
2. 民間業者に対する接遇向上の指導指示
3. 清掃業者委託内容の見直し（特に休日・連休の清掃）
汚れが目立つところとして、トイレ・洗面所・浴室など『水回り』が53%、衣装ケース・テレビ・ベッド・床頭台椅子などの『ベッド回り』が31%を占めている。
4. 面会時間の見直し検討
面会では、安静・療養に支障が「大いにある」10%、「少しある」25%に対し、「ない」が60%であった。
面会時間では、「30分以内」「1時間以内」が各28%に対し、「制限なし」が24%を占めていた。
また、「24時間いつでも」が12%、「8:30～」が24%、「13:00～」が39%であった。

個人的には職員一人ひとりが

1. 砂川市立病院の職員としての誇りを持って、より自己を高め技術を磨くこと
2. 患者様一人ひとりと対面し、もっと挨拶すること
3. 患者様の期待に添いたいという心で説明すること

などが望まれていることが解かった。

患者アンケート集計結果

配布総数	347	回収総数	246	回収率	71%
------	-----	------	-----	-----	-----

・記入者

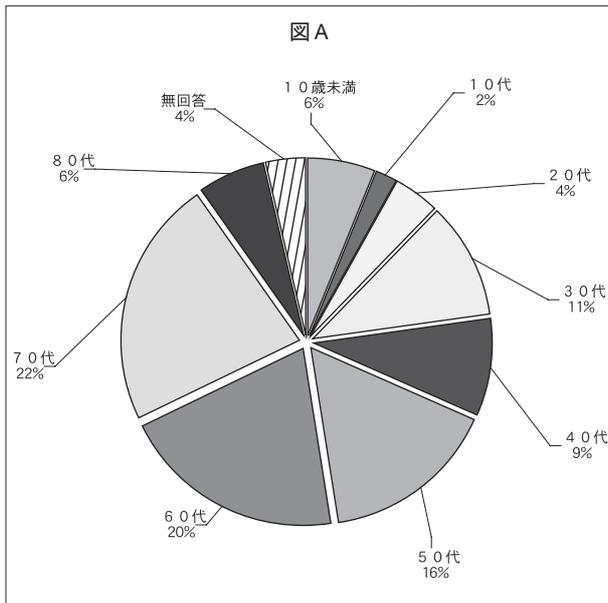
1. 本人	193	2. 代理	52	無回答	1
-------	-----	-------	----	-----	---

・性別

1. 男性	130	2. 女性	107	無回答	9
-------	-----	-------	-----	-----	---

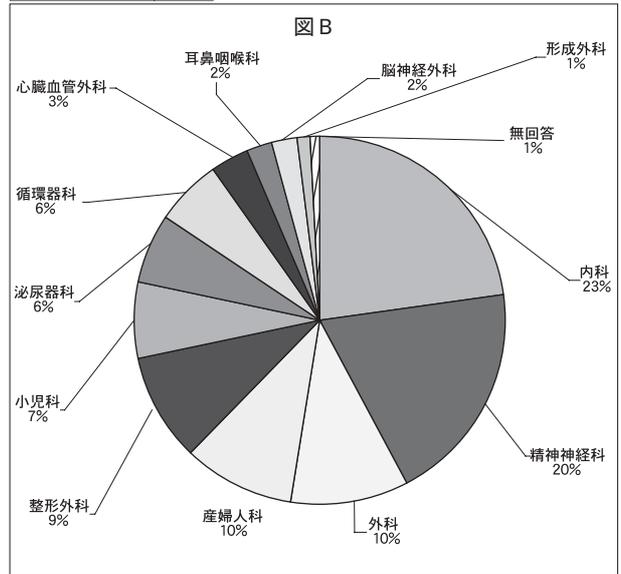
・年齢 (表1・図A)

1. 10歳未満	15	2. 10代	5	3. 20代	10
4. 30代	26	5. 40代	22	6. 50代	39
7. 60代	50	8. 70代	55	9. 80代	15
10. 90歳以上	0	無回答	9		



・診療科 (表2・図B)

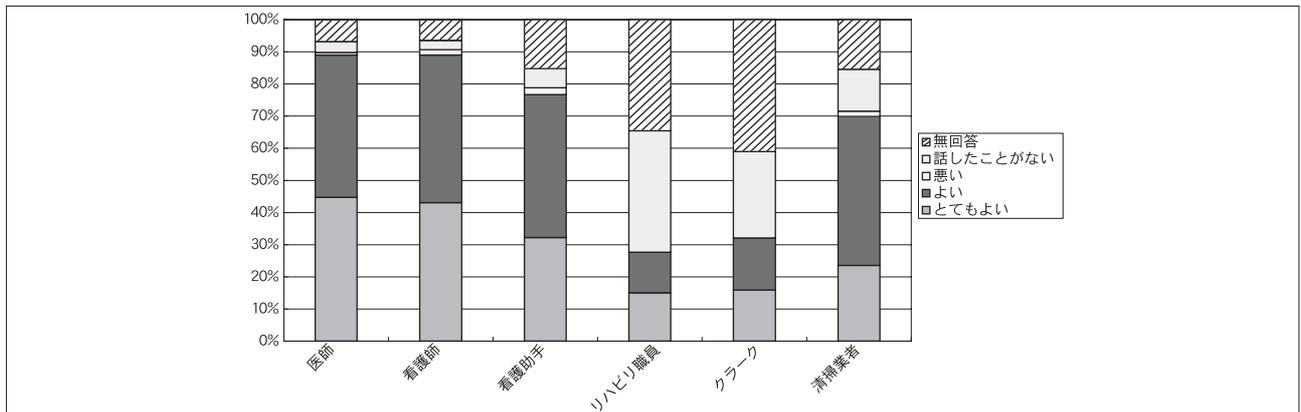
内科	56	精神神経科	48	外科	25
産婦人科	24	整形外科	23	小児科	17
泌尿器科	15	循環器科	14	心臓血管外科	8
耳鼻咽喉科	6	脳神経外科	5	形成外科	3
無回答	2				



質問項目

・病棟職員のあいさつ (図1)

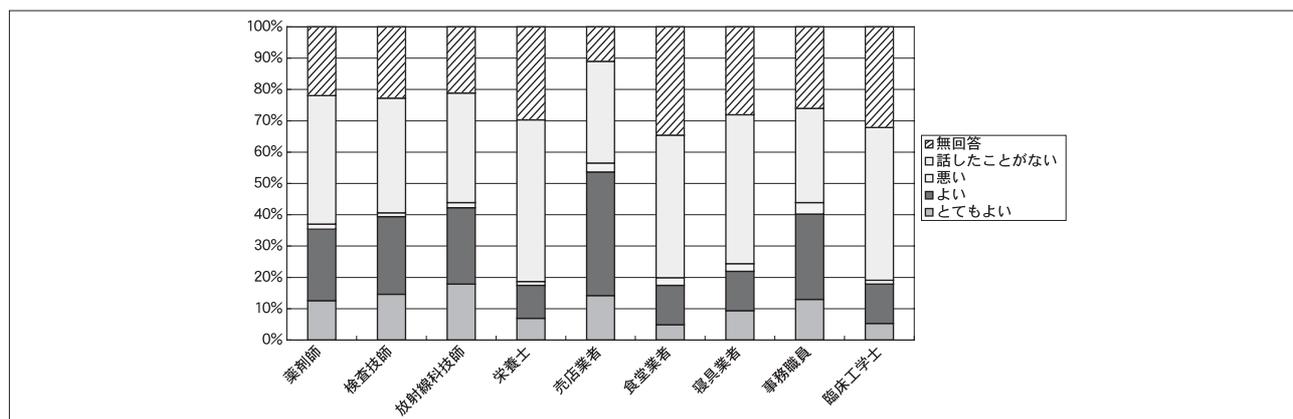
	とてもよい	よい	悪い	話したことがない	無回答	回答合計
医師	110	109	2	8	17	246
看護師	106	113	4	7	16	246
看護助手	76	105	5	14	36	236
リハビリ職員	37	31	0	93	85	246
クラーク	39	40	0	66	101	246
清掃業者	58	114	4	32	38	246



病院サービスに対する入院患者の意識調査のまとめ

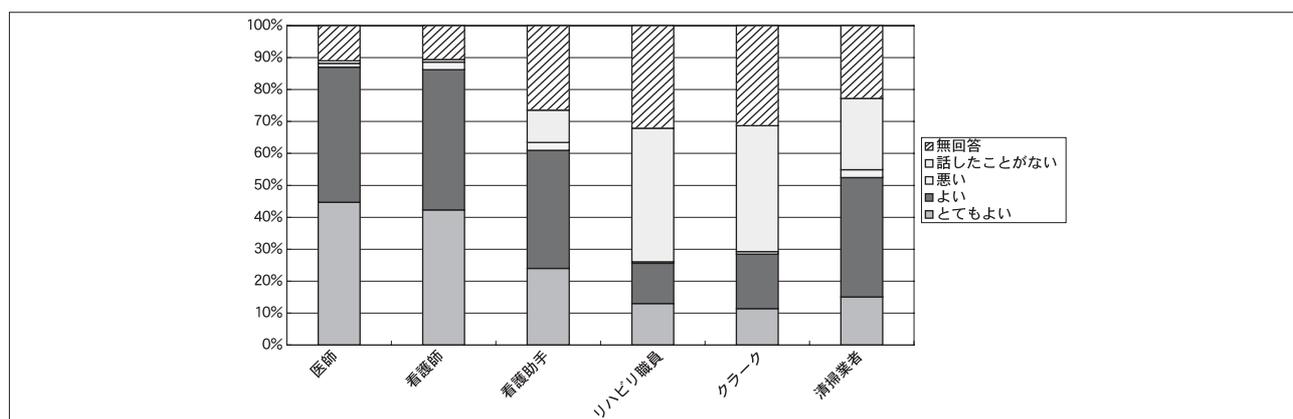
・病棟以外の職員のあいさつ（図2）

	とてもよい	よい	悪い	話したことがない	無回答	回答合計
薬剤師	31	56	4	101	54	246
検査技師	36	61	3	90	56	246
放射線科技師	44	60	4	86	52	246
栄養士	17	26	3	127	73	246
売店業者	35	97	7	80	27	246
食堂業者	12	31	6	112	85	246
寝具業者	23	31	6	117	69	246
事務職員	32	67	9	74	64	246
臨床工学士	13	31	3	120	79	246



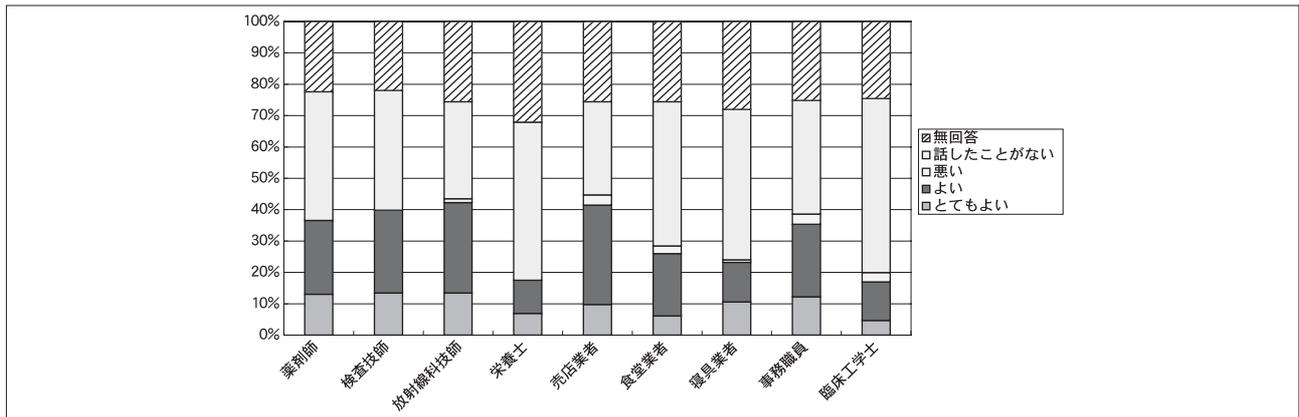
・病棟職員の言葉遣い（図3）

	とてもよい	よい	悪い	話したことがない	無回答	回答合計
医師	110	104	3	2	27	246
看護師	104	108	6	2	26	246
看護助手	59	91	6	25	65	246
リハビリ職員	32	31	1	103	79	246
クラーク	28	42	2	97	77	246
清掃業者	37	92	6	55	56	246



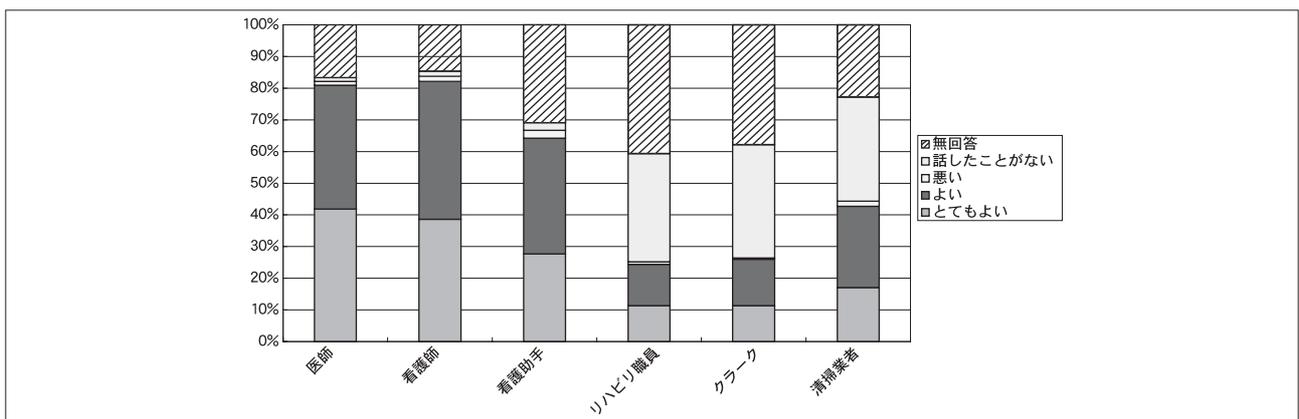
・病棟以外の職員の言葉遣い(図4)

	とてもよい	よい	悪い	話したことがない	無回答	回答合計
薬剤師	32	58	0	101	55	246
検査技師	33	65	0	94	54	246
放射線科技師	33	71	3	76	63	246
栄養士	17	26	0	124	79	246
売店業者	24	78	8	73	63	246
食堂業者	15	49	6	113	63	246
寝具業者	26	31	2	118	69	246
事務職員	30	57	8	89	62	246
臨床工学士	11	29	7	131	68	246



・病棟以外の職員の言葉遣い(図4)

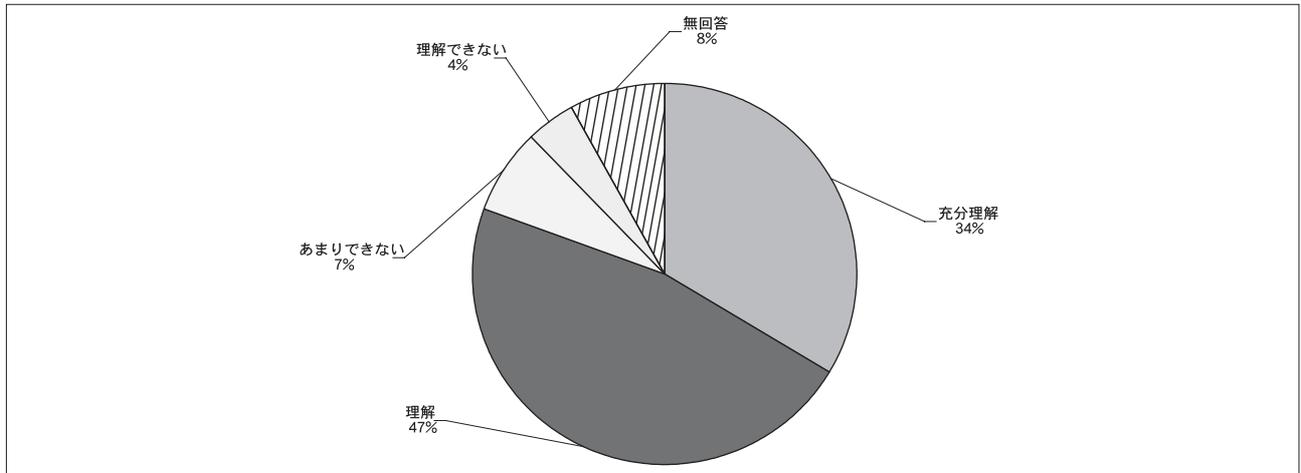
	とてもよい	よい	悪い	話したことがない	無回答	回答合計
薬剤師	32	58	0	101	55	246
検査技師	33	65	0	94	54	246
放射線科技師	33	71	3	76	63	246
栄養士	17	26	0	124	79	246
売店業者	24	78	8	73	63	246
食堂業者	15	49	6	113	63	246
寝具業者	26	31	2	118	69	246
事務職員	30	57	8	89	62	246
臨床工学士	11	29	7	131	68	246



病院サービスに対する入院患者の意識調査のまとめ

・ 医師からの病気の説明 (図6)

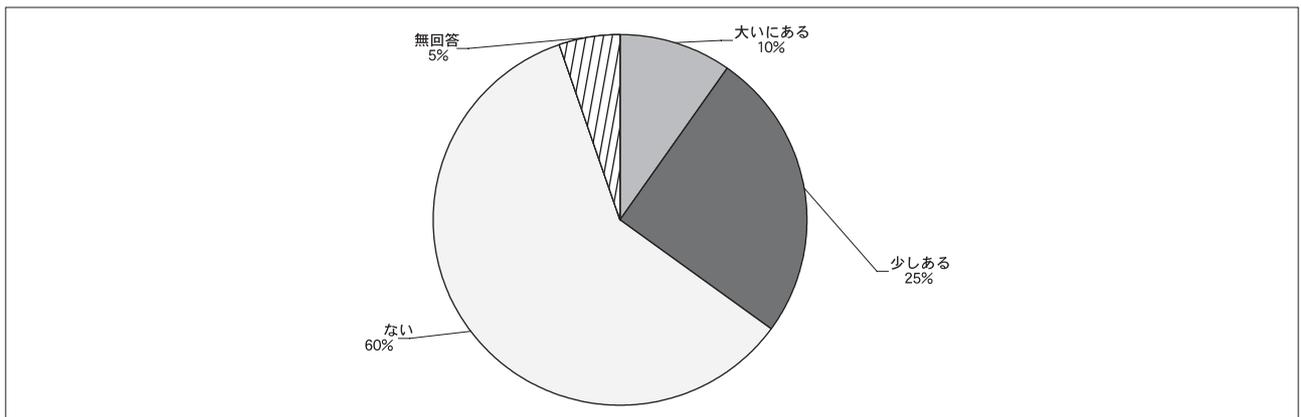
	充分理解	理解できた	余りできない	理解できない	無回答	回答合計
医師	83	115	18	10	20	246



・ 面会について

A. 安静・療養に支障がある

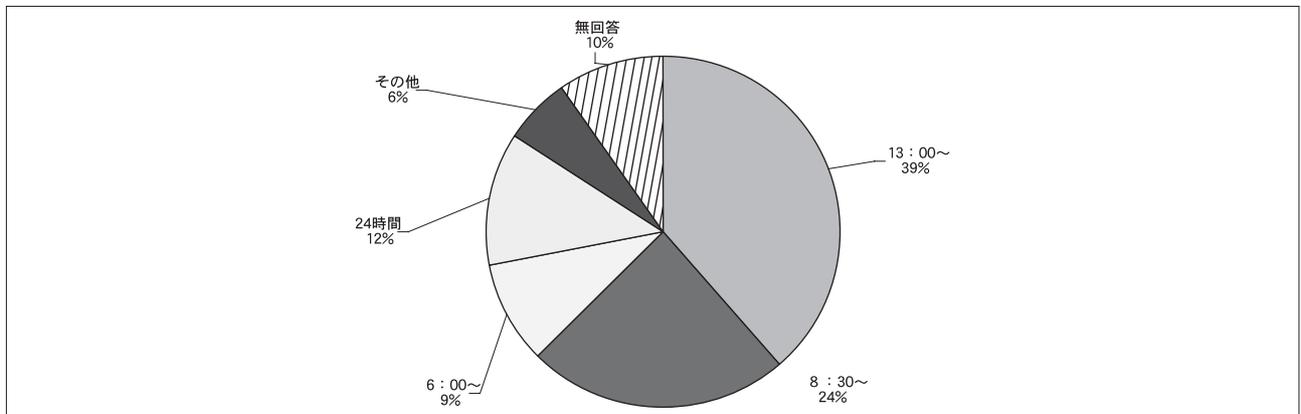
支障の程度	割合
大いにある	10%
少しある	25%
ない	60%
無回答	5%
回答合計	246



B. 適当と思う面会時間

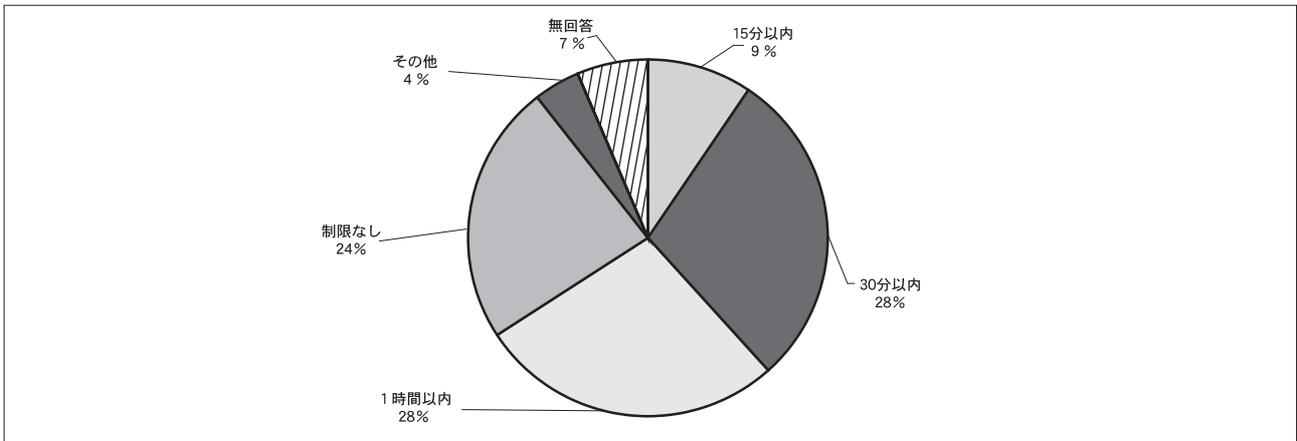
面会時間	割合
13:00~	39%
8:30~	24%
6:00~	9%
24時間	12%
その他	6%
無回答	10%
回答合計	246

その他 10:00~15:00 (1) 13:00~20:00 (1) 15:00~18:00 (2) 13:00~21:00 (1) 15:00~21:00 (1)



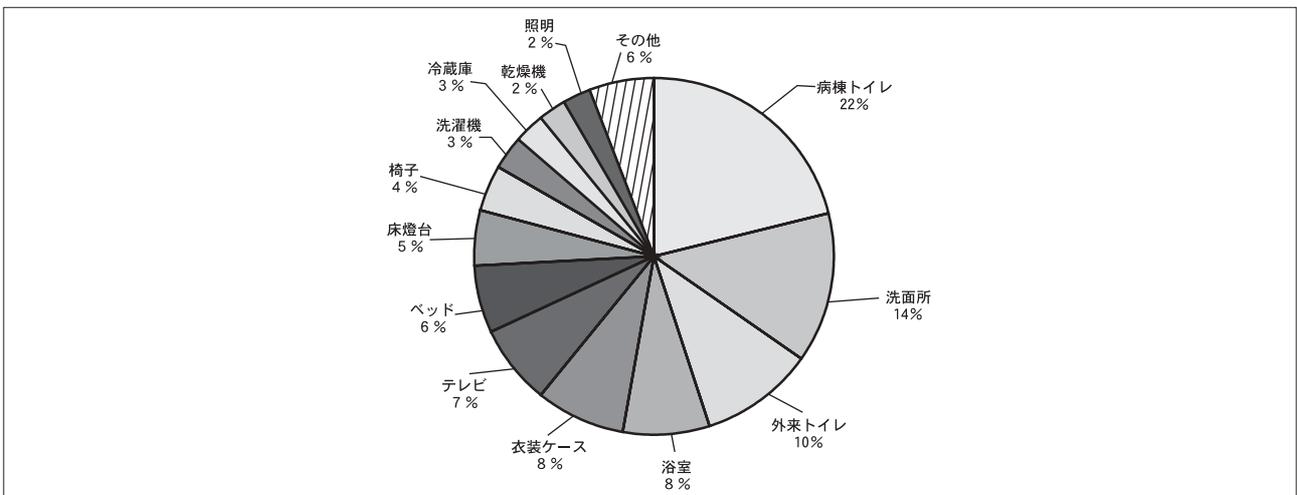
C . 適当と思う1回の面会時間

15分以内	30分以内	1時間以内	制限なし	その他	無回答	回答合計
23	71	68	58	10	16	246
その他	3時間 (1)					



. 清掃で汚れが目立つところ

病棟トイレ	洗面所	外来トイレ	浴室	衣装ケース	テレビ	ベッド	床燈台	回答合計
97	62	47	35	37	33	28	23	362
椅子	洗濯機	冷蔵庫	乾燥機	照明	清拭室	応接セット	病棟応接室	0
19	14	13	11	11	6	6	6	86
温水器	冷水器							0
5	4							9
								457



看護部の職員の対応や看護について

	いつもする	時々する	余りしない	無回答	回答合計
. 看護師は毎日挨拶をしているか	180	45	6	15	246
. どのような看護をして欲しいか話し合ったことがある	56	78	97	15	246
. 看護師は傍に来て話をしたり聞いたりしている	110	82	28	26	246
. 医師の説明後に看護師は解かりやすく説明する	81	104	56	5	246
. 看護師は退院後の生活について説明する	57	89	75	25	246
. 心配や不自由な事について看護師は話しを聞く	88	64	46	38	236
. 看護師は処置について解かりやすく説明する	110	76	30	30	246
. 看護師が行う処置を安心して受けられる	149	48	19	30	246
. 看護助手はベッド周りの清掃を丁寧にしている	104	86	28	28	246
. 看護助手は食後の下膳を気に掛けてしている	93	64	56	33	246

図 . 看護師のあいさつ

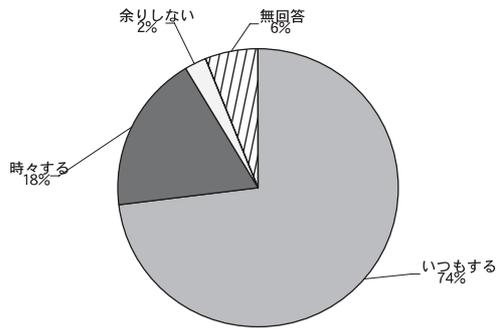


図 . 看護についての話し合い

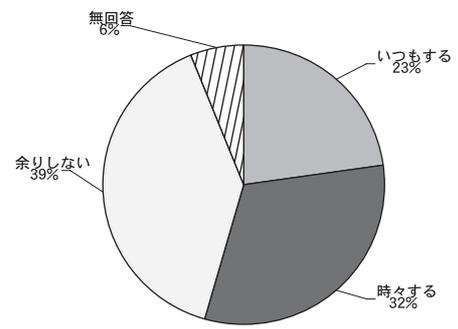


図 . 傍で話しを聞く

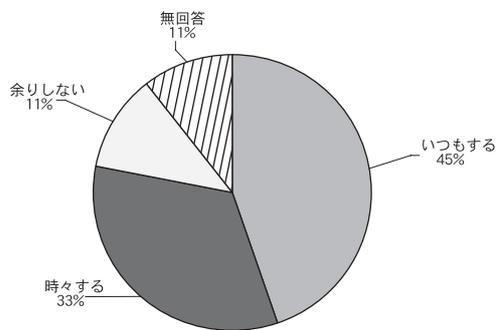


図 . 医師の説明後解かりやすく説明

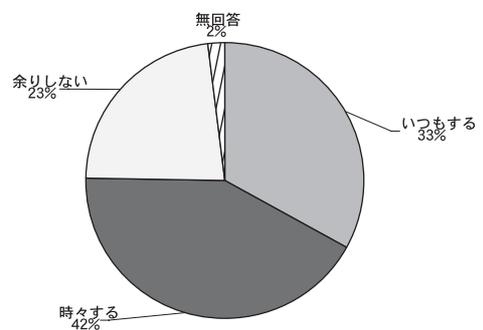


図 . 退院後の生活の説明

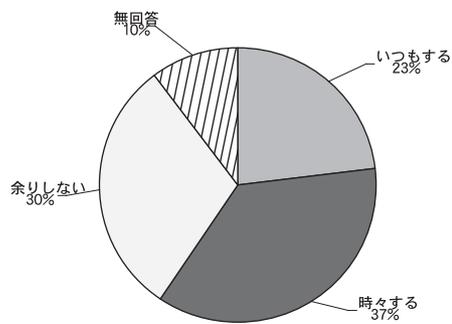


図 . 心配・不自由など話を聞く

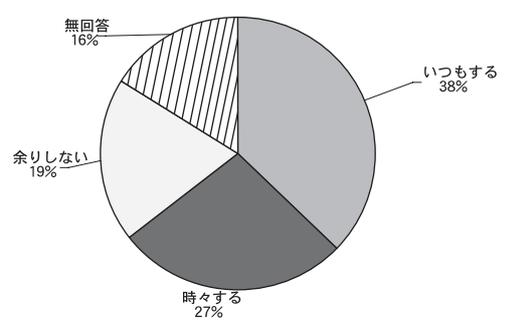


図 . 処置について解かりやすく説明

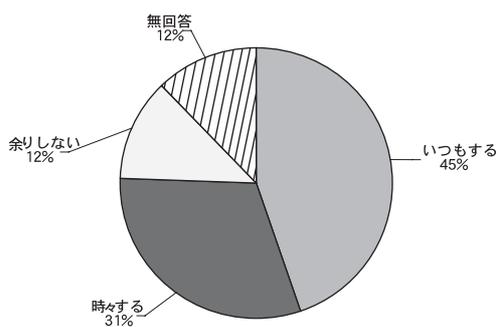


図 . 処置を安心して受けられる

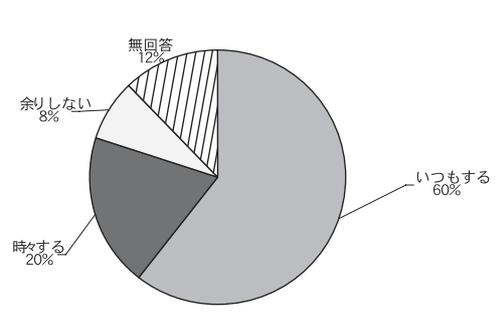


図 . 看護助手の清掃

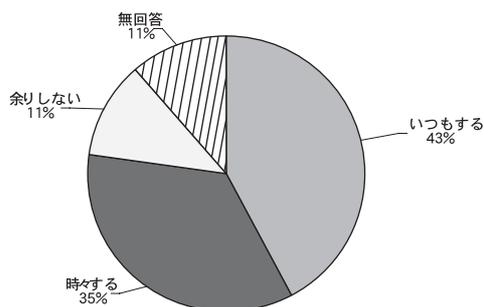
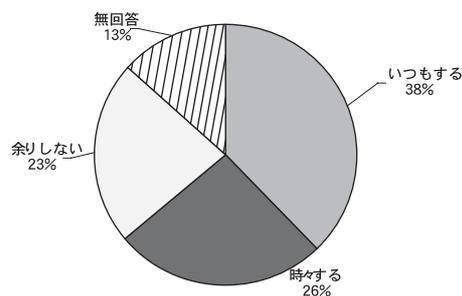


図 . 看護助手の下膳



病院への意見・要望（自由記載）

． 接遇に関して

- 1． 医師、看護師、各スタッフは大変勉強の行き届いた方々で、患者として安心して任せられます。今後も頑張って下さい。
- 2． 4週間の入院中、医師、看護師の対応に最高の安心感を持ってました。
- 3． 先生始め皆様様が親切なので、本当に感謝致しております。私は一人暮らしなので今後とも宜しくお願い申し上げます。
- 4． 清く美しい人生と生きがいをもち、強く検拳な心であって欲しいと思います。
- 5． 挨拶する人としらない人がはっきりしている。
- 6． 言葉使いが悪い。
- 7． 清掃と売店の方々の態度が悪すぎる。

． 医師に関して

- 1． 安心して治療を受けられました。ありがとうございました。
- 2． 何も申し上げることはありません。大変よくできていますが、先生の説明書きが私たち年寄りには解りにくいので、もう少し解りやすくしていただけたら、申し分のない病院だと思います。
- 3． 手術の内容について本人には殆ど説明がなかった。後で詳しくとの話でそれきりでした。
- 4． 各種検査結果についてその都度知らせて欲しい。
- 5． 退院後の生活について、食べ物、生活習慣、どんな運動が良いのか等書いた小冊子が欲しい。病気によって食べ物の種類と量がある程度決まってくるはずです。

． 看護師に関して

- 1． 看護師が足りなさすぎる。(2名)
- 2． 看護師の激務を感じる。増員して余裕を持たせて安全性を高めて欲しい。
- 3． 注射技術の向上を期待したい。(特に若い人)
- 4． ナースコールの対応が遅い時がある。
- 5． 人手が足りないように思いました。病棟職員の皆様はいつも忙しそうで、詰所に誰もいなかったり、入院患者さんに「ちょっと待ってください」と言わなければならないことが多いようです(特に準夜帯)又、一部の看護師さんですが、話し方がそっけないというか、少し冷たい感じがしました。
他の皆さんが優しそうなので、余計に目立っちゃいました。
- 6． 看護師の中に事務的で、患者家族の意見を聞いてくれない人がいる。
- 7． 患者に対してのケアがなっていない。
- 8． 特に年配の看護師が全体的に悪い。
- 9． 夜間の看護師の人数が少なすぎる。

病院サービスに対する入院患者の意識調査のまとめ

10. 親切でとても優しく一生懸命、任せて治すことに専念できる。
11. 患者に気を配るが、その横にいる患者に気を使わない。
12. 看護師さん達はいい人ばかりで、安心しています。
13. 精神病だとばかにする看護師を指導してほしいです。

・看護助手に関して

1. 助手が配下膳してくれるので助かっている。
2. 看護助手が通路でいつまでも長話をして迷惑。

・清掃に関して

1. 日曜日（連休など）の病棟のトイレ、洗面所など汚れがひどいので、どうにかならないのでしょうか。
2. 病棟トイレに便座を拭くためのアルコール（清掃用）を常備した方がよい。
汚く感じるからお尻をつくことができない。
3. 洗面所を使用する方で、食べ物の残り物を捨てていく、また、髪の毛を流し目皿をつまされる人がいるので止めさせて欲しい。
4. 掃除があまり行き届いていなかった。（暖房の上、テレビの上、テレビ台の後方、埃が多かった）
5. 病棟トイレについて、便座を清掃するための物を用意して下されると良いのですが。

・その他

1. 長期入院患者の部屋の入口に、ネームプレートをつけて欲しい。
知らない人が部屋を間違えて入ってくるので嫌だ。
2. 救急外来受診で、レントゲン技師の対応が横柄で適当な返事しかされず、苦痛が解っていない。
3. 病院の寝巻きが吐物の臭いがして嫌だった。
4. テレビを無料にして欲しい。
5. あまり部屋の移動を無くして欲しい。
6. 入院中より退院後をよろしく。
7. 談話室が賑やか過ぎる。
8. トイレのウォシュレットの設備が少ない。予算の関係、敷地設備の面もあるのだろうが、衛生・環境面からも考慮願いたい。

資料 1

砂川市立病院に入院された皆さまへ

平成18年9月

患者アンケートにご協力をお願い

砂川市立病院
院長 小熊 豊

皆さまが一日も早く快癒されますことを心よりお祈り申し上げます。

当院では、入院されている皆さまに満足していただける療養環境を整えるべく、検討・努力いたしております。今後、更なる医療サービスの向上を目指していくために、皆さまの貴重なご意見をお伺いすべく、アンケートを作成いたしました。より信頼される病院作りに向け、職員一同一丸となって動んでまいりますので、率直なご意見をいただきますようお願い致します。
皆さまから頂いたご意見は決して口外いたしません。
ご迷惑のかかることはございませんので、忌憚のないご意見をお書きくださいますようお願い申し上げます。

I. 記入方法

アンケートの項目ごとに、該当する番号を口の空欄にご記入ください。

II. アンケートの提出

アンケートの記入が終了しましたら封筒に入れ、病棟ナースステーションに設置してある回収ボックスにお入れください。看護師に直接渡していただいても結構です。

III. アンケートの回収日

平成18年9月19日（火）～ 9月29日（金）までに提出お願い致します。



不明点がございましたら、職員にお尋ねください。

以下の質問の該当する番号を○で囲んでください。

I. ご記入いただく方は

1. 本人 2. 代理

II. 性別は

1. 男性 2. 女性

III. 患者様の年齢は

1. 10歳未満	2. 10代	3. 20代	4. 30代	5. 40代
6. 50代	7. 60代	8. 70代	9. 80代	10. 90歳以上

IV. 入院している診療科は

1. 内科	2. 循環器科	3. 精神神経科	4. 小児科	5. 整形外科	6. 心臓血管外科
7. 形成外科	8. 脳神経外科	9. 神経内科	10. 皮膚科	11. 外科	12. 耳鼻咽喉科
13. 泌尿器科	14. 産婦人科	15. 眼科	16. 麻酔科		

V. 入院されている病棟は

病棟

以下の質問の該当する番号をお書きください。

I. 病棟の各職員のあいさつについてのご感想をお聞かせください。

1. とてもよい 2. よい 3. 悪い 4. 話したことがない

医師	看護師	看護助手
リハビリ職員	クラーク	清掃業者

II. 病棟の職員以外のあいさつについてのご感想をお聞かせください。

1. とてもよい 2. よい 3. 悪い 4. 話したことがない

薬剤師	検査技師	放射線検査技師
栄養士	売店業者	食堂業者
寝具業者	事務職員	臨床工学士

III. 病棟の各職員の言葉使いは丁寧でしたか？

1. とてもよい 2. よい 3. 悪い 4. 話したことがない

医師	看護師	看護助手
リハビリ職員	クラーク	清掃業者

IV. 病棟の職員以外の言葉使いは丁寧でしたか？

1. とてもよい 2. よい 3. 悪い 4. 話したことがない

薬剤師	検査技師	放射線検査技師
栄養士	売店業者	食堂業者
寝具業者	事務職員	臨床工学士

V. 各職員はあなたの個人に関わる事柄・プライバシーに十分配慮していましたか？

1. とてもよい 2. よい 3. 悪い 4. 話したことがない

医師	看護師	看護助手
リハビリ職員	クラーク	清掃業者

VI. 医師からの病気の説明はわかりやすく理解できましたか？

1. 充分理解できた 2. 理解できた 3. あまり理解できない 4. 理解できない

VII. 面会についてお伺いいたします。

A. 面会が安静・療養に支障がありますか？

1. 大いにある 2. 少しある 3. ない

B. 1日の中で適当と思われる面会時間一つお選びください。

1. 13:00～19:00 2. 8:30～19:00 3. 6:00～21:00 4. 24時間自由 5. その他 (: ~ :)

C. 1回の面会時間として適当と思われる時間一つお選びください。

1. 15分以内 2. 30分以内 3. 1時間以内 4. 制限無し 5. その他 (: ~ :)

VIII. 病棟の清掃で汚れが目立つところはどこですか？

特に気になるところを5つ選び、空欄に○をつけてください。

ベッド	椅子	床燈台	テレビ
冷蔵庫	衣装ケース	洗面所	浴室
洗濯機	乾燥室	清式室	応接セット
病棟トイレ	病棟応接室	応接セット	温水器
冷水器	照明	外来トイレ	

看護部の職員の対応や看護についてのご感想をお聞かせください。

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない 1～3 の該当する番号を○でお選びください。

I. 看護師は、あなたに毎日あいさつをしていますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

II. あなたは看護師とどのような看護をして欲しいか話したことがありますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

III. 看護師はあなたのそばにきて話をしたり聞いたりしていますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

IV. 医師の説明の後に看護師は解かりやすく説明をしていますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

V. 看護師はあなたの退院後の生活についての説明を解かりやすく行っていますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

VI. あなたの心配や現在の不自由なことについて、看護師は話を聞いていますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

VII. 看護師が行う処置について解かりやすく説明していますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

VIII. 看護師が行う処置(注射や検査の時など)は安心して受けることができますか？

1. いつもできる 2. 時々できる 3. あまりできない

IX. 看護助手は、ベッドのまわりの清掃をていねいにおこなっていますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

X. 看護助手は、食事が終わったら気に掛けてお膳を下げていますか？

1. いつもする 2. 時々する 3. あまりしない

病院へのご意見・ご要望などございましたら、ご記入ください。

アンケートにご協力ありがとうございました。

カラーページ

経皮的pCO₂モニター(商品名:センテックデジタルモニターシステム)が臨床的に有用であった重症肥満低換気症候群(Obesity Hypoventilation Syndrome: OHS)(Pickwick症候群)の一例

[柏 隆史ほか : 本文 9 ~ 11頁参照]

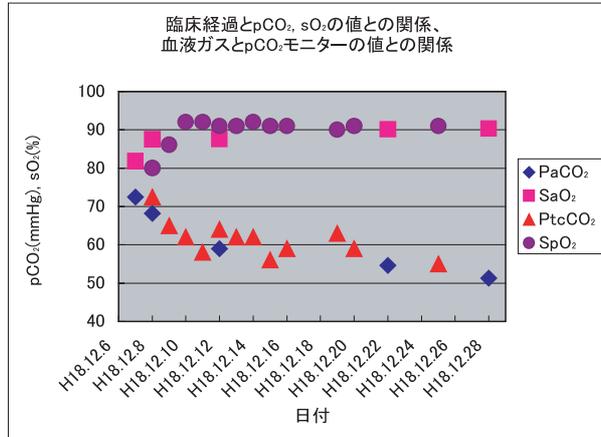


表 5

低用量シクロスポリンが奏功した爪乾癬の3例

[加藤潤史ほか : 本文25 ~ 26頁参照]

(図 1)



症例 1 治療前



症例 1 治療後 (2.5 ヶ月後)

(図 2)



症例 3 治療前

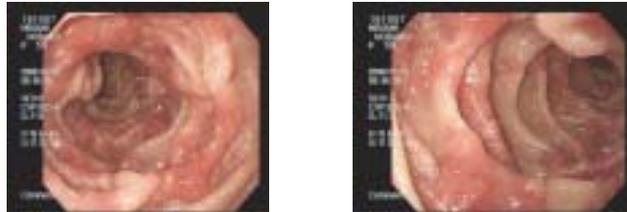


症例 3 治療後 (4 ヶ月後)

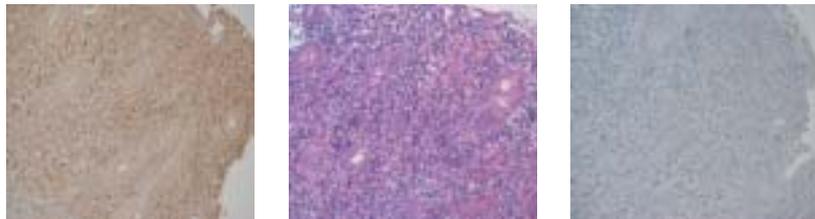
低蛋白血症と浮腫を契機に発見された成人T細胞白血病性リンパ腫(ATLL)の一例とその血液像

[安田亜希子ほか：本分117～119頁参照]

十二指腸内視鏡像と病理像

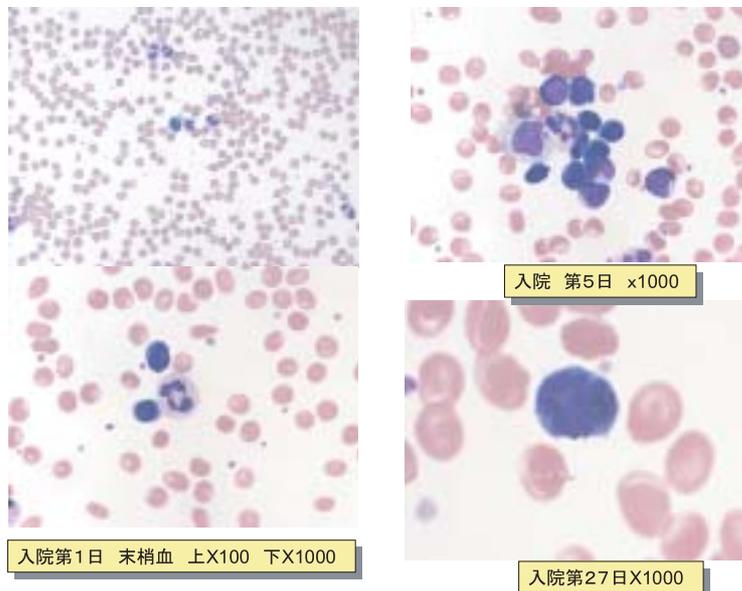


十二指腸 2nd portionに発赤を伴う腫脹を認めた



生検：十二指腸粘膜上皮間にCD4(+)/CD8(-)の異型を伴うリンパ球を認めた。

写真1 十二指腸内視鏡像と病理像



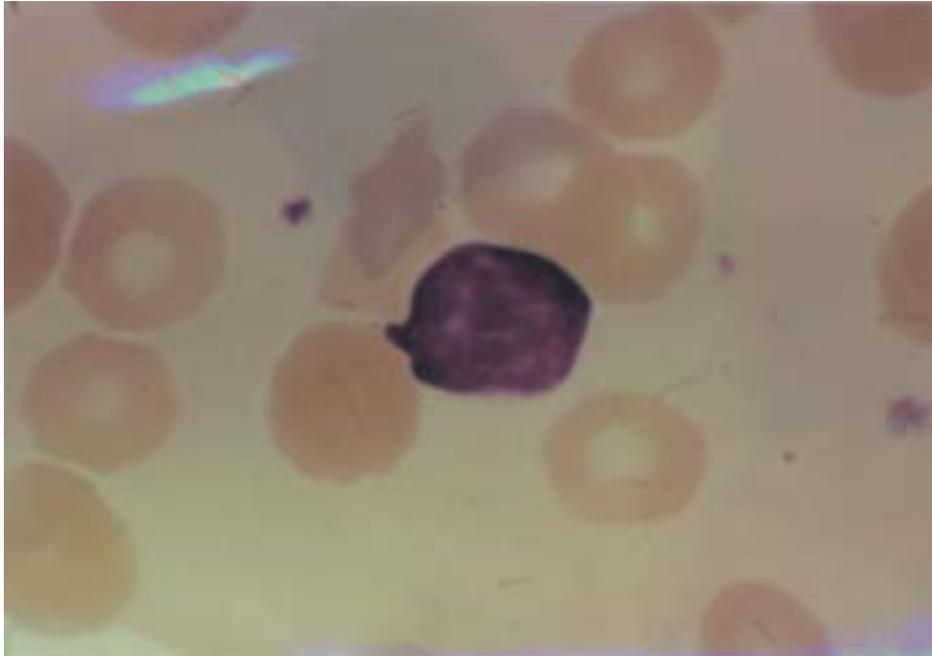
入院第1日 末梢血 上X100 下X1000

入院 第5日 x1000

入院第27日X1000

写真2 抹消血液像におけるリンパ球の形態的变化

C P C レポート ~ 急性リンパ性白血病を疑った重症肺炎の一例 ~
[斉藤仁志ほか : 本文124 ~ 127頁参照]



(写真 1 末梢血異常細胞)

2006年 学術・学会活動記録

【内 科】

掲載論文

1. 巨大嚢胞を呈した膵管内乳頭粘液性腺癌の1例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 14~16,2006.)

本間 理央 吉田 行範 岸澤 有華
鈴木 誉也 新崎 人士 廣海 弘光
渡部 直己 日下 大隆 小熊 豊

2. 閉塞性黄疸で発症しステロイド治療が奏効した自己免疫性膵炎の1例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 17~19,2006.)

本間 理央 鈴木 誉也 岸澤 有華
新崎 人士 廣海 弘光 吉田 行範
渡部 直己 日下 大隆 小熊 豊

3. 減圧PEGの1例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 20~22,2006.)

中積 宏之 渡部 直己 岸澤 有華
鈴木 誉也 新崎 人士 廣海 弘光
吉田 行範 日下 大隆 小熊 豊

4. 小腸大量出血の1例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 23~25,2006.)

長谷徹太郎 吉田 行範 本間 理央
岸澤 有華 鈴木 誉也 新崎 人士
廣海 弘光 渡部 直己 日下 大隆
小熊 豊 齊藤 仁志 林 俊治
松久 忠史 田口 宏一 湊 正意

学会・研究会発表

1. 組織学的に5ヵ所の病変を認めた多発胃癌の1例

(第3回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 3月)

鈴木 誉也 長谷徹太郎 岩木 宏之

2. 心筋梗塞を疑った急性胆嚢炎の1例

(第3回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 3月)

本間 理央 川口 愛

3. 非常に高力価の血清抗体価を呈し肝生検が診断の契機となったQ熱症例

(第80回日本感染症学会総会 東京都 4月)

岸澤 有華 渡部 直己 廣海 弘光
日下 大隆 小熊 豊

4. NSTてなーに

(第39回NST委員会 砂川市 4月)

渡部 直己

5. 気腫性胆嚢炎の1例

(第4回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 6月)

野村 昭嘉 吉田 行範 岩木 宏之

6. 再発巣を切除し得た後腹膜脂肪肉腫の1例

(第4回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 6月)

加藤 伸康 吉田 行範 岩木 宏之

7. PEGの栄養管理
(第43回NST委員会 砂川市 6月) 渡部 直己
8. PEG勉強会
(第44回NST委員会 砂川市 7月) 渡部 直己
9. 術前診断が困難であった胃に発生した異所性腺癌の1例
(第5回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 9月) 柏 隆史 新崎 人士 岩木 宏之
10. パーキンソン病を合併したスキルス胃癌の1例
(第5回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 9月) 福森 大介 長岡健太郎 岩木 宏之
加藤 和彦
11. 隔日の血漿交換で救命できた血栓性血小板減少性紫斑病の1例
(第241回日本内科学会北海道地方会 札幌市 11月) 長岡健太郎 渡部 直己 廣海 弘光
日下 大隆 小熊 豊
12. 隔日の血漿交換で救命できた血栓性血小板減少性紫斑病の1例
(平成18年度空知医師会集談会 砂川市 11月) 長岡健太郎 渡部 直己 廣海 弘光
日下 大隆 小熊 豊
13. 隔日の血漿交換で救命できた血栓性血小板減少性紫斑病の1例
(北大一内シンポジウム第41回研究会 札幌市 12月) 長岡健太郎 渡部 直己 廣海 弘光
日下 大隆 小熊 豊
14. 難治性腹水に対して腹腔・静脈シャントが奏効した1例
(第6回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 12月) 東川 晋語 新崎 人士

【精神神経科】

掲載論文

1. Prescription pattern of antipsychotic drugs for schizophrenic inpatients in Japan: research on East Asia Psychotropic Prescription Pattern-Antipsychotics study.
(Psychiatry Clin Neurosci. 60:778-9, 2006)
Yoshimura R, Okamoto T, Nakamura J, Tateno M, Otsuka K, Takahashi H, Fujisawa D, Takamatsu T, Fujii S, Sato S, Inoue M, Sasaki H, Kuroki T, Shinfuku N.
2. 「認知症を支えるための地域ネットワークの試み」
(老年精神医学雑誌第17巻増刊号 - 119-124,2006.) 内海久美子
3. アルツハイマー型認知症(AD)の重症度と脳血流低下部位の検討 (3 DSRTの解析を用いて)
(老年精神医学雑誌 第17巻第6号 665 ~ 672,2006.)
小林 清樹 内海久美子 館農 勝
寺岡 政敏 高橋 明 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
森井 秀俊 藤井 一輝
4. 精神科遺伝学：最近の進歩と臨床的意義
(Psychiatry Today No. 9, 14-16, 2006.) 館農 勝
5. 世界精神医学会(WPA)カイロ大会におけるJYPOの活動報告
(精神神経学雑誌 108巻3号 291-293, 2006.)

藤澤 大介 上原 久美 佐藤創一郎
佐藤 玲子 末永 貴美 館農 勝

6. アルコールによる脳神経回路網修復・維持機構の変化
(アルコールと医学生物学26巻 81-87, 2006.)

石井 貴男 鷗飼 渉 今井 智之
黒澤 茂樹 吉永 敏弘 館農 勝
小野 貴文 齋藤 諭 橋本 恵理
池田 官司 齋藤 利和 相馬 仁

7. 抗うつ薬による神経ネットワーク修復の機序解明 小胞体機能変化に焦点を当てて
(精神薬療研究年報38号 130-138, 2006.)

鷗飼 渉 今井 智之 石井 貴男
黒澤 茂樹 吉永 敏弘 館農 勝
齋藤 諭 橋本 恵理 池田 官司
齋藤 利和

8. パニック障害の受診経路に関する研究

(厚生労働科学研究費補助金・こころの健康科学研究事業 パニック障害の治療法の最適化と治療ガイドラインの策定に関する研究 平成17年度 総括・分担研究報告書(主任研究者 熊野宏昭), 2006.)

大野 裕 藤澤 大介 橋本 直樹
大塚耕太郎 今村 弥生 上原 久美
佐藤 玲子 奥川 学 加藤 隆弘
菊地 紗耶 小泉 弥生 佐藤創一郎
高橋 克昌 高橋 知久 館農 勝
吹田 恭子 森 貴俊 吉岡 知子
和気 洋介 山之内芳雄 諸隈 一平

9. 精神科受診経路に関する多施設研究(PATHWAY研究)(第3報)身体科医療機関での治療についての満足度調査
(精神神経学雑誌 2006特別号 S350, 2006.)

橋本 直樹 藤澤 大介 大塚耕太郎
小泉 弥生 山之内芳雄 森 貴俊
加藤 隆弘 吹田 恭子 館農 勝
今村 弥生 菊地 紗耶 吉岡 知子
佐藤創一郎

10. 日本若手精神科医の会JYPOによる精神科受診経路に関する多施設研究Pathway to psychiatric care in Japan
精神科疾患の病名告知について

(精神神経学雑誌 2006特別号 S263, 2006.)

小泉 弥生 五十君啓泰 上原 久美
大塚耕太郎 奥川 学 菊地 俊暁
清原 義明 佐渡 充洋 佐藤 玲子
佐藤創一郎 高橋 克昌 高橋 英彦
館農 勝 藤内 栄太 橋本 直樹
吹田 恭子 藤澤 大介 松岡 弘修
諸隈 一平 吉岡 知子

11. 新卒後臨床研修制度における精神科研修の現状 日本若手精神科医の会による多施設アンケート調査

(精神神経学雑誌 2006特別号 S227, 2006.)

佐藤 玲子 加藤 隆弘 末永 貴美
縄田 秀幸 吹田 恭子 五十君啓泰
奥川 学 菊地 紗耶 菊地 俊暁

館農 勝 藤内 栄太 藤田 晶子
 藤本美智子 宮田 純 森 貴俊
 諸隈 一平 山之内芳雄 上原 久美
 藤澤 大介

12. アルコール飲用の薬理作用と依存メカニズム 神経幹細胞の分化機能異常 アルコール依存症とうつ病に共通する病態基盤の可能性

(日本アルコール・薬物医学会雑誌 41巻3号 182-183, 2006.)

石井 貴男 鷓飼 渉 吉永 敏弘
 館農 勝 橋本 恵理 齋藤 利和

13. 精神科受診経路に関する多施設研究(第2報)

(精神神経学雑誌 108巻2号 201, 2006)

橋本 直樹 藤澤 大介 大塚耕太郎
 小泉 弥生 佐藤創一郎 館農 勝
 吹田 恭子 古岡 知子 早稲田芳史
 奥川 学 佐渡 充洋 高橋 克昌
 今村 弥生 村岡 弘修 清原 義明
 上原 久美 菊地 俊暁 佐藤 玲子
 高橋 英彦 諸隈 一平

14. “もの忘れ専門外来”の2年間の活動報告

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 26 ~ 29, 2006.)

内海久美子 館農 勝 小林 清樹
 寺岡 政敏 高橋 明 齋藤 正樹
 (九州医療センター脳神経内科)
 森井 秀俊 藤井 一輝 大辻 誠司

学会・研究会発表

1. Quantitative analysis of regional cerebral blood flow in patients with Alzheimer disease by 3DSRT.

(World Psychiatric Association International Congress in Istanbul, July 12 - 16, 2006)

Masaru Tateno, Seiju Kobayashi, Kumiko Utsumi,
 Akira Takahashi, Masaki Saito, Hidetoshi Morii, Kazuki Fujii,
 Masatoshi Teraoka

2. Recent trends in pharmacotherapy among young psychiatrists in East Asia

(World Psychiatric Association International Congress in Istanbul, July 12 - 16, 2006)

Masaru Tateno, Changsu Han, Zhening Liu, Erin Wu,
 Waichi Chan, Kumi Uehara

3. The role of neuron restrictive silencer factor in ethanol effect on differentiation of neural stem cells

(ISBRA 2006 World Congress on Alcohol Research in Sydney, Australia, September 10 - 13, 2006)

Masaru Tateno

4. A Local Network to Support the Elderly with Dementia by the Community.

(Symposium: Geriatric Mental Health System in Eastern Asia. The 12th Pacific Rim College of Psychiatry Scientific Meeting in Taipei, October 5-8, 2006)

Masaru Tateno, Seiju Kobayashi, Kumiko Utsumi,
 Masatoshi Teraoka

5. 「医療・保健・介護福祉ネットワークの試み もの忘れ専門外来を通して」
 (北海道医師会学術講演会 札幌市 2月) 内海久美子 館農 勝 小林 清樹
 高橋 明 齋藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
 森井 秀俊 藤井 一樹
6. 「認知症を支えるための地域ネットワークの試み」
 (アルツハイマー病研究会 東京 4月) 内海久美子 館農 勝 小林 清樹
 高橋 明 齋藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
 森井 秀俊 藤井 一樹 安村 修一
 (上砂川町立診療所)
7. レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症における局所脳血流量に関する検討
 (第21回日本老年精神医学会 東京 6・7月) 館農 勝 内海久美子 小林 清樹
 齋藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
 高橋 明 藤井 一輝
 森井 秀俊 寺岡 政敏
8. レビー小体型認知症(DLB)におけるMIBG心筋シンチグラフィ
 (第109回北海道精神神経学会例会 旭川市 7月) 小林 清樹 内海久美子 館農 勝
 成田 学 寺岡 政敏 高橋 明
 森井 秀俊 藤井 一輝
 安村 修一(上砂川町立診療所)
 齋藤正樹(九州医療センター脳神経内科)
9. レビー小体型認知症の局所脳血流に関する検討
 (第109回北海道精神神経学会例会 旭川市 7月) 館農 勝 内海久美子 小林 清樹
 成田 学 寺岡 政敏 高橋 明
 齋藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
 森井 秀俊 藤井 一輝
 安村 修一(上砂川町立診療所)
10. 「知っていますか 身近な認知症」
 (赤平市民講演会 赤平市 9月) 内海久美子
11. アスペルガー症候群に性同一性障害を合併した男児の一例
 (第47回日本児童青年精神医学会総会 千葉 10月) 館農 幸恵 館農 勝
12. 若手から見た東アジアの精神医療
 (石狩会 札幌市 11月) 館農 勝
13. 抑肝散の使用状況・効果
 (平成18年空知医師会集談会 砂川市 11月) 小林 清樹 内海久美子 館農 勝
 寺岡 政敏
14. 心理行動学的症状に対する抑肝散の効果
 (第110回北海道精神神経学会例会 札幌市 12月) 小林 清樹 内海久美子 館農 勝
 寺岡 政敏
15. アルツハイマー型認知症における塩酸ドネペジル投与前後の局所脳血流量について
 (第110回北海道精神神経学会例会 札幌市 12月) 館農 勝 内海久美子 小林 清樹
 成田 学 寺岡 政敏 高橋 明
 森井 秀俊 藤井 一輝

齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
安村 修一(上砂川町立診療所)

16. 日本若手精神科医の会 (Japan Young Psychiatrists Organization: JYPO) について
(第110回北海道精神神経学会例会 札幌市 12月)

館農 勝

【循環器科】

掲載論文

1. 当院でのCypher stentの初期成績
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 30~33,2006.)

清水 紀宏 佐々木 基 平林 高之
伊藤 文博(奈井江町立国保病院)

学会・研究会発表

1. PCPSにより救命できた肺塞栓の1例
(空知循環器検討会 美唄市 7月)
2. Cardiac disturbance syndrome の2例
(北海道循環器研究会臨床検討部会 札幌市 10月)
3. Cardiac disturbance syndrome の2例
(北空知内科集談会 滝川市 11月)
4. Cardiac disturbance syndrome の2例
(平成18年度空知医師会集談会 砂川市 11月)
5. Cardiac disturbance syndrome の2例
(空知循環器検討会 砂川市 11月)

清水 紀宏

清水 紀宏 佐々木 基 平林 高之

【外 科】

掲載論文

1. 消化管吻合術におけるドレーンの必要性の検討
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 34~36,2006.)

松久 忠史 安念 和哉 林 俊治
田口 宏一 湊 正意

学会・研究会発表

1. 当科における初発胸部食道癌に対する放射線化学療法 of 検討
(第84回北海道外科学会 札幌市 2月)
2. 組織学的に5ヶ所の病変を認めた多発胃癌の1例
(第3回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 2月)
3. 心筋梗塞を疑った急性胆嚢炎の1例
(第3回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 2月)
4. 気腫性胆嚢炎の1例
(第4回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 6月)

松久 忠史 林 俊治 田口 宏一
湊 正意

長谷徹太郎 林 俊治 松久 忠史
田口 宏一 湊 正意 鈴木 誉也
岩木 宏之

川口 愛 林 俊治 松久 忠史
田口 宏一 湊 正意 本間 理央
岩木 宏之

福森 大介 松久 忠史 田口 宏一
湊 正意 野村 昭嘉

5. 再発巣を切除し得た後腹膜脂肪肉腫の1例
(第4回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 6月) 加藤 伸康 福森 大介 松久 忠史
田口 宏一 湊 正意 吉田 行範
岩木 宏之
6. 放射線化学療法が奏功した食道癌肉腫術後再発の1例
(第89回日本臨床外科学会北海道支部総会 札幌市 7月) 福森 大介 加藤 伸康 松久 忠史
田口 宏一 湊 正意 岩木 宏之
7. 「Immunonutritionとは」
(第45回 NST委員会 砂川市 7月) 松久 忠史
8. 下部進行直腸癌に対する術前放射線化学療法
(第84回北海道外科学会 札幌市 9月) 松久 忠史 東川 晋吾 柏 隆史
福森 大介 田口 宏一 湊 正意
岩木 宏之
9. 術前診断が困難だった胃に発生した異所性膵癌の1例
(第5回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 9月) 柏 隆史 福森 大介 松久 忠史
田口 宏一 湊 正意 新崎 人士
岩木 宏之
10. パーキンソン病を合併したスキルス胃癌の1例(嚥下療法を含めて)
(第5回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 9月) 福森 大介 松久 忠史 田口 宏一
湊 正意 長岡健太郎 岩木 宏之
加藤 和彦
11. 下部進行直腸癌に対する術前放射線化学療法
(平成18年度空知医師会集談会 砂川市 11月) 松久 忠史 東川 晋吾 柏 隆史
福森 大介 田口 宏一 湊 正意
岩木 宏之
12. 癌の免疫
(乳癌患者会「杏の会」例会 砂川市 10月) 田口 宏一
13. 術前診断が困難であった胃に発生した異所性膵癌の1例
(第89回日本臨床外科学会北海道支部総会 札幌市 12月) 福森 大介 松久 忠史 田口 宏一
湊 正意 岩木 宏之
14. 5型スキルス胃癌の1例
(第6回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 12月) 江本 慎 福森 大介 松久 忠史
田口 宏一 湊 正意 村山 節男
(村山内科医院) 岩木 宏之
15. 難治性腹水に対して腹腔・静脈シャントが奏功した1例
(第6回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 12月) 東川 晋吾 福森 大介 松久 忠史
田口 宏一 湊 正意 新崎 人士

【整形外科】

掲載論文

1. 病気のお話「腰椎椎間板ヘルニア」

(砂川市立病院広報誌ひまわり 12巻第冬号 3,2006.)

谷代 恵太

学会・研究会発表

1. 大腿骨転子部骨折に対するPFNAの使用経験
(第110回北海道整形災害外科学会 札幌市 1月)
小助川維摩 谷代 恵太 小幡 浩之
宮野 須一
2. 両側大腿骨近位部骨折例の検討
(第110回北海道整形災害外科学会 札幌市 1月)
谷代 恵太 小助川維摩 小幡 浩之
宮野 須一
3. Mini TKAの短期成績
(第110回北海道整形災害外科学会 札幌市 1月)
小幡 浩之 谷代 恵太 小助川維摩
宮野 須一
4. 20年間の強直膝に対してTKAを行った1例
(第111回北海道整形災害外科学会 旭川市 6月)
小幡 浩之 亀田 和利 岩瀬 岳人
宮野 須一
5. 腰部脊柱管狭窄症に対するリマプロストアルファデクスの使用経験
(中空知整形外科医会 砂川市 10月)
岩瀬 岳人 小幡 浩之 亀田 和利
宮野 須一
6. 20年間の強直膝に対して人工膝関節置換術を行った1例
(第45回全国自治体病院学会 鹿児島市 10月)
小幡 浩之 宮野 須一 佐々木昭彦
小熊 豊
7. 20年間の強直膝に対して人工膝関節置換術を行った1例
(平成18年度空知医師会集談会 砂川市 11月)
小幡 浩之 亀田 和利 岩瀬 岳人
宮野 須一

【形成外科】

掲載論文

1. 腹壁に発生したChronic Expanding Hematomaの一例
(砂川市立病院医学雑誌 23巻1号 37~40,2006.)
須田 徹也 小松 磨史 四ッ柳高敏
(札幌医科大学附属病院)

学会発表

1. 手掌部に生じた, Cutaneous Rosai-Dorfman Diseaseの一例
(日本形成外科学会 北海道地方会 札幌市 10月)
須田 徹也
2. Gentle Laseを用いた, 老人性色素斑等と脱毛処置について
(平成18年度空知医師会集談会 砂川市 11月)
須田 徹也 今井 章仁

【脳神経センター】

掲載論文

1. Neuronal cell injury in patients after cardiopulmonary resuscitation: evaluation by diffusion-weighted imaging and magnetic resonance spectroscopy.
(Neurosurg Rev.2006 Jan;29(1):88-92.)
Kano H, Houkin K, Harada K, Koyanagi I, Nara S, Itou Y,
Imaizumi H, Asai Y, Saitoh M

2. 未破裂脳動脈瘤手術に対する低侵襲手術についての検討
(脳卒中の外科 34 : 395-400,2006.)
米増 保之 (KKR札幌医療センター脳神経)

外科) 高橋 明 齊藤 正樹(九州医療
センター脳神経内科) 茅野 伸吾

3. 砂川市立病院でのstroke teamによる出張教育と地域連携パスの導入
(Medical Network病院新時代 25:7-9,2006.)

高橋 明 齊藤 正樹(九州医療セン
ター脳神経内科)

4. Stroke teamによる出張教育と脳卒中の地域連携パスによる地域病院支援
(The 25th Mt.Fuji workshop on CVD Proceeding 2006. in press)

齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
高橋 明 本間 敏美 柴田 和則

5. 筋生検術におけるoctyl1-2-cyanoacrylateの使用経験
(神経治療学 23:165-168,2006.)

齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
米増 保之(KKR札幌医療センター脳神経外
科) 高橋 明

6. 脳卒中患者の膝上弾性ストッキングによる皮膚潰瘍と管理上の問題点
(脳神経外科速報 16:657-661,2006.)

齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
高橋 明 米増 保之(KKR札幌医療
センター脳神経外科)

7. 濃厚流動栄養液による食道閉塞
(臨床雑誌内科 98:917,2006.)

齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
高橋 明 本間 理央

8. 非脳卒中専門施設へのstroke teamによる出張教育と地域連携パスの導入
(脳卒中 2007. in press)

齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
高橋 明 米増 保之(KKR札幌医療セ
ンター脳神経外科)本間 敏美
柴田 和則

9. 超急性期リハビリテーションの取り組み - 早期退院を目指して-
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 98~100,2006.)

三枝 幹生 新関 友博 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
柴田 和則 本間 敏美 高橋 明

10. 3D-CT Angiographyの工夫
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 41~42,2006.)

柴田 和則 高橋 明 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
本間 敏美 恩田 敏之(札幌医科大学脳
神経外科)

11. 卵円孔開存による脳塞栓症の2例
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 43~44,2006.)

本間 敏美 齊藤 正樹(九州医療セン
ター脳神経内科)柴田 和則
高橋 明 恩田 敏之(札幌医科大学
脳神経外科)

12. アルツハイマー型認知症(AD)の重症度と脳血流低下部位の検討 -3DSRT解析を用いて -

(老年精神医学雑誌 17 : 665 - 672,2006.)

小林 清樹 内海久美子 館農 勝
高橋 明 齊藤 正樹(九州医療セン
ター脳神経内科) 森井 秀俊
藤井 一輝 寺岡 政敏

13. “もの忘れ専門外来”の2年間の活動報告

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 26 ~ 29 ,2006.)

内海久美子 館農 勝 小林 清樹
寺岡 政敏 高橋 明 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
森井 秀俊 藤井 一輝 大辻 誠司

14. 地域中核病院の役割 - 整形外科,神経内科,臨床検査科の連携による絞扼性神経障害診療 -

(整形・災害外科 2007. in press)

齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
宮野 須一 小幡 浩之 光畑 幸美
納口 聡子 金谷 耕平

15. 手根管症候群と肘部管症候群における電気生理学的検査の実際と応用

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 94 ~ 97,2006.)

芦原 卓也 齊藤 正樹(九州医療セン
ター脳神経内科) 光畑 幸美
納口 聡子 高橋 康弘 館田 健児
小助川維摩 谷代 恵太 小幡 浩之
宮野 須一

16. 砂川市立病院脳卒中地域連携パス

(脳卒中クリニカルパス実例集 地域病院編(仮称) in press)

高橋 明 齊藤 正樹(九州医療セン
ター脳神経内科)

学会・研究会発表

1. Can CT Perfusion image Estimate Hyper-perfusion Syndrome After Carotid Endoarterectomy?

(The 4th International Mt. BANDAI Symposium for Neuroscience & The 5th Pan-Pacific Neurosurgery Congress,Committeess Hawaii 1.2006)

Akira Takahashi, Masaki Saitoh, Yasuyuki Yonemasu,
Kazuniri Shibata, Toshiyuki Onda

2. 急性期脳梗塞の病態と治療

(脳卒中病診連携講演会 美唄市 1月)

高橋 明

3. 中空知地区脳卒中病診連携の構築

(脳卒中病診連携講演会 赤平市 2月)

高橋 明

4. 中空知地区脳卒中病診連携について

(脳卒中病診連携講演会 芦別市 2月)

高橋 明

5. 砂川市立病院脳神経センターで行われている低侵襲手術

(病診連携講演会 砂川市 2月)

高橋 明

6. 当院における慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術の工夫

(日本脳神経外科学会北海道地方会 札幌市 3月)

本間 敏美 高橋 明 柴田 和則
齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)

7. 中空知地区脳卒中病診連携の構築
(脳卒中病診連携講演会 奈井江町 3月) 高橋 明
8. 中空知地区脳卒中病診連携の構築
(脳卒中病診連携講演会 砂川市 3月) 高橋 明
9. 中空知地区脳卒中病診連携の構築
(空知薬剤師会講演会 滝川市 6月) 高橋 明
10. 器質化慢性硬膜下血腫の1例
(北日本脳神経外科学術大会 札幌市 6月) 本間 敏美 高橋 明 柴田 和則
11. 高齢者地域の脳卒中
(中空知ストロークフォーラム 滝川市 7月) 本間 敏美 高橋 明 柴田 和則
12. 慢性硬膜下血腫手術の工夫: QOL向上を目指して
(日本病院脳神経外科学会 新潟 7月) 高橋 明 柴田 和則 本間 敏美
13. 後頭蓋窩病変に対するアルテプラーゼ治療の問題点
(Mt.Fuji Workshop on CVD 札幌市 8月) 高橋 明 齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科) 柴田 和則
本間 敏美
14. 高齢者社会の脳卒中
(Mt.Fuji Workshop 札幌市 8月) 本間 敏美 高橋 明 柴田 和則
齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
15. 最近の脳卒中治療
(脳卒中病診連携講演会 赤平市 8月) 高橋 明
16. 脳卒中の最近の治療
(脳卒中病診連携講演会 富良野市 8月) 高橋 明
17. 診療報酬改定による今後の患者動向
(第46回 NST委員会 砂川市 8月) 高橋 明
18. スtent留置術後Kinkingにより血流停止をきたした頸動脈狭窄症の1例
(日本脳神経血管内治療学会北海道地方会 札幌市 9月) 高橋 明 柴田 和則 本間 敏美
野中 雅
19. 脳室-腹腔シャント留置術での2-Octyl-cyanoacrylateの有用性
(日本脳神経外科学会北海道地方会 旭川市 9月) 本間 敏美 高橋 明 柴田 和則
齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
恩田 敏之(札幌医科大学脳神経外科)
米増 保之(KKR札幌医療センター脳神経外科)
20. 脳卒中
(赤平医師会市民講座 赤平市 9月) 高橋 明

21. 超高齢者破裂脳動脈瘤治療の問題点
(日本脳神経外科学会総会 京都 10月) 高橋 明 柴田 和則 本間 敏美
22. 高齢化地域の脳卒中
(日本脳神経外科学会総会 京都 10月) 本間 敏美 高橋 明 柴田 和則
齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科)
23. クリニカルパス
(脳卒中病診連携講演会 奈井江町 10月) 高橋 明
24. 脳卒中
(砂川市民講座 砂川市 10月) 高橋 明
25. 特発性正常圧水頭症 ~ 治せる認知症 ~
(空知医師会学術大会 砂川市 11月) 本間 敏美 高橋 明 柴田 和則
小林 清樹 館農 勝 内海久美子
寺岡 政敏

【心臓血管外科】

学会・研究会発表

1. 「心臓血管領域の感染性疾患に対する治療成績」
(平成18年空知医師会集談会 砂川市 11月)

佐々木昭彦 宮島 正博

【皮膚科】

掲載論文

1. カラーアトラス Ca拮抗剤による乾癬型薬疹
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 45~47,2006.)

高塚 紀子

学会・研究会発表

1. Alopecia (円形脱毛症)に対する当科での治療
(平成18年空知医師会集談会 砂川市 11月)

加藤 潤史 高塚 紀子

【泌尿器科】

掲載論文

1. Preoperative computed tomography finding predicts for postoperative inguinal hernia : New perspective for radical prostatectomy-related inguinal hernia .
(Urology 68(2) : 267-271, 2006.)

Fumimasa Fukuta, Shin-ichi Hisasue, Masahiro Yanase,
ko kobayashi, Shintaro Miyamoto, Shuichi Kato,
Masaki Shima, Taiji Tsukamoto, Keiji Takatsuka

2. アルコールまたは覚醒剤による横紋筋融解症
(臨床泌尿器科 60 : 317-320, 2006.)

市原 浩司 砂押 研一 笹尾 拓己
柳瀬 雅裕 高塚 慶次

3. 砂川市立病院における前立腺癌に対する放射線治療
(泌尿器外科 19(8) : 1013-1015, 2006.)

宮本慎太郎 柳瀬 雅裕 久末 伸一
福多 史昌 西田 幸代 加藤 秀一
島 正樹 高塚 慶次 岩木 宏之

4. 間質性膀胱炎に対するレジニフェラトキシン膀胱内注入療法の経験
(泌尿紀要 52:911-913, 2006.)

高橋 聡 柳瀬 雅裕 井上 隆太
市原 浩司 舩森 直哉 塚本 泰司
井川 靖彦 西沢 理

5. 眼窩転移で発見された前立腺癌の1例
(泌尿器外科 19(2):179-181, 2006.)

砂押 研一 田中 俊明 柳瀬 雅裕
高橋 聡 伊藤 直樹

6. 「昭和40年代後半からの勤務をふりかえる + 今後への期待」
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 1~2, 2006.)

高塚 慶次

7. 当院における腹膜透析の現状
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 48~50,2006.)

久末 伸一 高塚 慶次 柳瀬 雅裕
福多 史昌 西田 幸代 宮本慎太郎
加藤 秀一 島 正樹

8. 病気のお話「腎移植とは」
(砂川市立病院広報誌ひまわり 13巻第春号 3,2006.)

柳瀬 雅裕

学会・研究会発表

1. Age-related alteration of nNOS-specific neurotrophic factor receptor GFRa2 in major pelvic ganglia.
(101th AUA (American Urological Association) Annual Meeting, Atlanta, USA May 2006)
Hisasue, S.

2. 腎細胞癌
(旭川泌尿器疾患談話会 旭川市 1月)

高塚 慶次

3. 腸腰筋血腫の1例
(第367回日本泌尿器科学会北海道地方会 札幌市 1月)

島 正樹 久末 伸一 柳瀬 雅裕
西田 幸代 宮本慎太郎 高塚 慶次
谷代 恵太 小幡 浩之

4. 腹腔鏡を用いたカテーテル関連トラブル修復術およびカテーテル留置術
(CAPD University 横浜市 2月)

柳瀬 雅裕

5. 1遮断剤の射精に及ぼす影響
(前立腺疾患学会オオルガノン講演会 大阪市 4月)

久末 伸一

6. CAPD合併症「カテーテル留置術」
(CAPDナースカレッジ基礎コース 旭川市 5月)

柳瀬 雅裕

7. 生体吸収性素材を用いた海綿体神経再生による骨盤神経節内のGFRa2とnNOSの変化
(第3回泌尿器科再建再生研究会 札幌市 6月)

久末 伸一

8. 根治的前立腺摘除術後のPSA failure.
(第368回日本泌尿器科学会北海道地方会 札幌市 6月)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 久末 伸一 | 柳瀬 雅裕 | 西田 幸代 |
| 村中 貴之 | 宮本慎太郎 | 進藤 哲哉 |
| 高塚 慶次 | 岩木 宏之 | |
9. 「最近の腎移植」
(第15回臨床免疫アレルギーの集い 札幌市 7月)
- | | | |
|-------|--|--|
| 柳瀬 雅裕 | | |
|-------|--|--|
10. 腹腔鏡を用いたカテーテル関連トラブル修復術&カテーテル留置術
(第17回北海道腹膜透析研究会 札幌市 8月)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 柳瀬 雅裕 | 久末 伸一 | 西田 幸代 |
| 村中 貴之 | 宮本慎太郎 | 進藤 哲哉 |
| 高塚 慶次 | | |
11. 「血の気の引いた3症例」
(第1回京都大学泌尿器科大文字会マンスリーサマーセミナー 京都 8月)
- | | | |
|-------|--|--|
| 西田 幸代 | | |
|-------|--|--|
12. 腹腔鏡下CAPDカテーテル挿入術およびカテーテル関連トラブル修復術
(第20回日本Endourology・ESWL学会 大阪 10月)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 柳瀬 雅裕 | 久末 伸一 | 西田 幸代 |
| 村中 貴之 | 宮本慎太郎 | 高塚 慶次 |
13. 女子尿道憩室により尿閉を生じた1例
(第369回日本泌尿器科学会北海道地方会(第85回北海道医学大会泌尿器科分科会) 札幌市 10月)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 進藤 哲哉 | 西田 幸代 | 前鼻 健志 |
| 宮本慎太郎 | 村中 貴之 | 久末 伸一 |
| 柳瀬 雅裕 | 高塚 慶次 | |
14. 腹腔鏡を用いたカテーテル関連トラブル修復術およびCAPDカテーテル留置術
(第369回日本泌尿器科学会北海道地方会(第85回北海道医学大会泌尿器科分科会) 札幌市 10月)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 柳瀬 雅裕 | 久末 伸一 | 鈴木 一弘 |
| 西田 幸代 | 村中 貴之 | 宮本慎太郎 |
| 進藤 哲哉 | 高塚 慶次 | |
15. 「CAPD合併症とその対策」
(札幌CAPDセミナー 札幌市 11月)
- | | | |
|-------|--|--|
| 柳瀬 雅裕 | | |
|-------|--|--|
16. 腎移植前後の患者不安軽減に向けた外来・病棟・薬剤部・検査科連携について
(第25回北海道腎移植談話会 札幌市 11月)
- | | | |
|-------|--|--|
| 柳瀬 雅裕 | | |
|-------|--|--|
17. 前立腺癌を早く見つけて安心しよう! 「PSA検診の有用性」
(健康フォーラム市民公開講座 滝川市 11月)
- | | | |
|-------|--|--|
| 柳瀬 雅裕 | | |
|-------|--|--|
18. ベシケアの使用経験
(第6回ソラチプト研究会 砂川市 11月)
- | | | |
|-------|--|--|
| 柳瀬 雅裕 | | |
|-------|--|--|
19. 臨床医が参加する臨床試験(治験)の意義について
(平成18年空知医師会集談会 砂川市 11月)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 柳瀬 雅裕 | 鈴木 一弘 | 西田 幸代 |
| 村中 貴之 | 宮本慎太郎 | 進藤 哲哉 |
| 前鼻 健志 | 高塚 慶次 | |
20. PSA4ng/ml未満で施行した根治的前立腺摘除術23例の臨床的検討
(第22回前立腺シンポジウム 東京 12月)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 西田 幸代 | 進藤 哲哉 | 前鼻 健志 |
| 宮本慎太郎 | 村中 貴之 | 鈴木 一弘 |
| 柳瀬 雅裕 | | |

【産婦人科】

掲載論文

1. 癒着胎盤（嵌入胎盤）の初めての経験
（北海道産婦人科医誌 118号 8～9、2006.）

武田 直毅 前鼻 健志

学会・研究会発表

1. 日常臨床における漢方医薬の使用経験
（平成17年度薬剤師のための漢方医学研修会 札幌市 2月）

菊池 研

2. 産婦人科センター化の現状と課題（シンポジウム）
（第4回周産期談話会 札幌市 7月）

武田 直毅

3. 腹腔鏡のクリニカルパス
（第5回病診速携クリニカルカンファレンス 砂川市 9月）

鈴木 俊也

【眼科】

掲載論文

1. Acute unilateral conjunctivitis after rubella vaccination: the detection of the rubella genome in the inflamed conjunctiva by reverse transcriptase-polymerase-chain reaction.
（Br J Ophthalmol. 90(11) : 1436-7, 2006）

Kitaichi N, Ariga T, Ohno S, Shimizu T.

2. 眼感染症セミナー スキルアップ講座
アデノウイルス結膜炎迅速診断キット（免疫クロマトグラフィー法）
（あたらしい眼科 23巻7号 895-896, 2006.）

有賀 俊英

3. 病気のお話「白内障」
（砂川市立病院広報誌ひまわり 14巻第夏号 3,2006.）

有賀 俊英

学会・研究会発表

1. 「眼関連アデノウイルスの分子疫学」
（第43回日本眼感染症学会 日本眼感染症学会学術奨励賞受賞記念講演 米子市 7月）

有賀 俊英

2. ウイルス性結膜炎の対処 1.疫学からのアプローチ
（第39回ICD講習会 米子市 7月）

有賀 俊英

【耳鼻咽喉科】

学会・研究会発表

1. 嚥下について
（第47回NST委員会 砂川市 9月）

大谷 文雄

【研修医】

掲載論文

CPCレポート

1. 両側気管支肺炎の一例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 101~103,2006.)

柳田雄一郎

2. 慢性誤嚥性気管支炎として治療された粟粒結核症の一例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 104~107,2006.)

上田 敬子

3. 肺癌の一例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 108~109,2006.)

大西 史師

4. 原発不明癌の一例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 110~112,2006.)

堀口 貴行

5. 多発肝転移にて死亡した胃癌の一例と緩和療法

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 113~115,2006.)

中積 宏之

6. 尿管癌の一例と癌ペプチド療法

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 116~120,2006.)

加藤 秀一

【看護部】

掲載論文

1. ドレナージシュミレーション装置によるドレナージ管理教育

(BRAIN NURSING Vol.22 9, 2006.)

押野 郁治 北山さやか 吉田 康紀

2. 糖尿病網膜症患者の“逃げたい”思いによりそう

「こういう状況が逃げている感じになっている」

(看護学雑誌 Vol.70 9, 2006.)

伊藤ひろみ

3. 行動変容に困難をきたしている糖尿病患者への教育的かかわりの入口

(プラクティス Vol.23 NO.5 9, 2006.)

伊藤ひろみ

4. 患者が参画できる看護の取り組み - 患者と目標を共有して -

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 51~55,2006.)

後藤 千枝

5. 病棟におけるリスクカンファレンス実施後の看護師の変化

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 56~58,2006.)

藤森 理恵 谷口永里子 辻口 聖奈

6. 苦痛緩和に対するの援助と家族との関わりから学んだこと

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 59~65,2006.)

三谷 洋志

7. 入院初期から退院後の生活の姿を描くことの大切さを学んだ事例

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 66~68,2006.)

三浦 香織

8. “患者様の声”から変わるクリニカルパス ~アンケート調査結果から考えるヘルニアパス改定~

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 69~72,2006.)

横浜 太一

9. 新人レポートを共有しての病棟の取り組み
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 73~75,2006.)
- 伊東 未来 大嶋 守
10. 看護部インシデントレポート集計報告
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 76~77,2006.)
- 尾西 孝一
11. 29年間の入院生活からグループホームへの入居が実現した事例の再考
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 78~81,2006.)
- 岩井久美子 小坂 幸子
12. 母子分離を余儀なくされた双胎児と母との愛着形成への働きかけ
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 82~85,2006.)
- 上嶋 智美
13. 創痛の軽減と成人期にある患者への関わり
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 86~93,2006.)
- 金田 礼子
14. 砂川市立病院における大規模災害訓練実施後のアンケート結果
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 121~128,2006.)
- 高田 綾子
15. 中央手術室の年間集計報告 (平成17年)
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 129~133,2006.)
- 福塚 智美
16. 病院サービスに対する入院患者の意識調査とまとめ
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 144~154,2006.)
- 伊藤 民子 佐々木博美

学会・研究会発表

1. KOMI理論を用いた妊娠中の看護手順
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 名尾 晴美
2. 抗がん剤療法を行う患者様へのパンフレットを作成して
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 松村 美沙
3. 口腔清拭のマニュアル作成について
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 貝沼のり子
4. 人工股関節・人工骨董置換術を受ける患者様への生活指導
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 佐々木智世佳
5. 意識障害のある患者の口腔ケア
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 佐藤 真司
6. 精神科での服薬管理手順
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 小林 洋子
7. 環境の視点からの保護室使用基準の検討
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 高岡 祐子
8. 乳幼児の2刺激薬の効果的吸入の工夫
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 戸澤 直美
9. 嚥下訓練について
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 上野 優紀
10. アロマセラピーを用いた睡眠に対する援助の効果
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 中田 有紀
11. 出血傾向にある患者の口腔ケア
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月)
- 千田 頼成

12. 肺切除術時の手術体位固定 - ソフトナースを使用した側臥位 -
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月) 江崎夕香里
13. 血液透析患者様における血圧の自己管理について
(第2回KOMIケア看護手順研究会 砂川市 1月) 星 尚子
14. せん妄症状を呈する患者の看護
(第18回第9病棟看護研究会 砂川市 1月) 戸田 悦子
15. NST実践マニュアル
(第32回NST委員会 砂川市 1月) 山崎 君江
16. NST実践マニュアル
(第33回NST委員会 砂川市 1月) 越智みどり
17. 心電図を読めるようになろう
(第8回新人看護研究会 砂川市 1月) 伊波久美子
18. 感染管理の感染予防についての学び
(第8回新人看護研究会 砂川市 1月) 中村 聖子
19. ノロウイルスについての理解を深めよう
(第8回新人看護研究会 砂川市 1月) 中村 聖子
20. ターミナル期における苦痛の緩和について
(第8回新人看護研究会 砂川市 1月) 中村 聖子
21. NST実践マニュアル
(第34回NST委員会 砂川市 2月) 狩野真澄美
22. 地域連携 脳神経センターで働く人
(第1回地域連携研究会 美唄市 3月) 押野 郁治
23. 脳卒中看護・急性期から慢性期へ
(第2回地域連携研究会 奈井江町 3月) 押野 郁治
24. 精神看護学概論
(第1回第8病棟看護研究会 砂川市 4月) 岡崎 泰樹
25. 精神科領域における転倒・転落による急変時の看護
(第6回第8病棟看護研究会 砂川市 4月) 伊波久美子
26. 精神科における自我のとらえ方
(第7回第8病棟看護研究会 砂川市 4月) 中安 隆志
27. 精神科領域における転倒・転落による急変時の看護
(第5回第9病棟看護研究会 砂川市 4月) 伊波久美子
28. 危険物の病棟内への持ち込みに関する看護介入
(第6回第9病棟看護研究会 砂川市 4月) 岡崎 泰樹
29. 効果的な身体拘束のあり方
(第1回第12病棟看護研究会 砂川市 4月) 栗山 恭華
30. ジレンマについての事例検討
(第1回外来看護研究会 砂川市 4月) 三土智恵子
31. 実習指導の意義と指導者の役割
(第1回臨床指導者研究会 砂川市 4月) 大嶋 守
32. 脳卒中看護・急性期から満千期へ
(第3回地域連携研究会 赤平市 5月) 押野 郁治
33. キネステイクによる移動法
(第1回第7病棟看護研究会 砂川市 5月) 斉藤三津子
34. 体幹抑制の方法の実際
(第8回第8病棟看護研究会 砂川市 5月) 佐藤 寧洋
35. 院内外出時の患者 看護師関係の治療契約
(第7回第9病棟看護研究会 砂川市 5月) 戸田 悦子

36. 人工呼吸器を装着した患者の看護
(第2回第11病棟看護研究会 砂川市 5月) 細海加代子
37. 自殺企図のある患者との関りと中毒の看護
(第3回第12病棟看護研究会 砂川市 5月) 佐藤 明美
38. 目標管理に活用するキャリア開発
(第4回第12病棟看護研究会 砂川市 5月) 山崎 君江
39. キネステイクをやってみよう
(第1回新人看護研究会 砂川市 5月) 藤井 恵子
40. 経管栄養法の基本的な知識と方法
(第1回新人看護研究会 砂川市 5月) 細海加代子
41. 酸素吸入法の基本的知識
(第1回新人看護研究会 砂川市 5月) 戸田 悦子
42. 高齢者の肺炎の看護
(第1回新人看護研究会 砂川市 5月) 中村 聖子
43. 「栄養サポートの実際」
(第40回NST委員会 砂川市 5月) 越智みどり
44. 高齢者と誤飲性肺炎
(第1回第6病棟看護研究会 砂川市 6月) 高橋 純子
45. 人工呼吸器(LTV)の基本的な知識と使用について
(第4回第10病棟看護研究会 砂川市 6月) 細海加代子
46. 看護研究の理解を深める
(第7回第12病棟看護研究会 砂川市 6月) 細海加代子
47. 血液浄化用カテーテルの使い方と透析看護
(第1回透析看護研究会 砂川市 6月) 根岸奈保美
48. 与薬の正しい知識
(第2回新人看護研究会 砂川市 6月) 中村 聖子
49. 統一した気管内吸引手技の教育
(第9回日本病院脳神経外科学会 新潟 7月) 寺崎 望都 押野 郁治
50. 弾性ストッキング代用の検討
(第9回日本病院脳神経外科学会 新潟 7月) 伊井 蘭美 押野 郁治
51. 親水性ポリマーを使用した摩擦の軽減
(第9回日本病院脳神経外科学会 新潟 7月) 水野有紀子 押野 郁治
52. 地域医療連携 看護師の立場から
(第9回日本病院脳神経外科学会 新潟 7月) 押野 郁治
53. 髄液ドレナージ架台の検討
(第9回日本病院脳神経外科学会 新潟 7月) 押野 郁治
54. 褥瘡予防とケアについて
(第2回第3病棟看護研究会 砂川市 7月) 小川 有美
55. 感染管理に焦点をあてた事例報告
(第3回第3病棟看護研究会 砂川市 7月) 白川 孝治
56. 脳神経外科における地域連携について
(第4回第5病棟看護研究会 砂川市 7月) 押野 郁治
57. チューブ類の固定法
(第2回第7病棟看護研究会 砂川市 7月) 村部 則子
58. 安全な静脈注射の基本的な知識
(第8回第9病棟看護研究会 砂川市 7月) 長谷 亜紀
59. 精神科閉鎖病棟での転倒・転落に焦点をあてた、リスクマネジメント
(第10回第9病棟看護研究会 砂川市 7月) 戸田 悦子

60. CDCガイドラインにそった手洗いの実行
(第11回第9病棟看護研究会 砂川市 7月) 田中富美子
61. メンケス病を学習する
(第6回第10病棟看護研究会 砂川市 7月) 上 美子
62. ケアネットKOMI記録システムの操作
(第8回第12病棟看護研究会 砂川市 7月) 石田 明美
63. 熱傷の全身観察のポイント
(第9回第12病棟看護研究会 砂川市 7月) 細海加代子
64. 糖尿病性腎症のフットケアについて
(第2回透析看護研究会 砂川市 7月) 中川 真理
65. 心肺蘇生と外傷のガイドライン
(第2回外来看護研究会 砂川市 7月) 伊波久美子
66. 自分の傾向を知ろう
(第3回新人看護研究会 砂川市 7月) 中村 聖子
67. 看護倫理について考える
(第3回新人看護研究会 砂川市 7月) 長谷川育子
68. 3年課程の看護専門学校における学生の実習経験に関する研究
- 学生へのインタビューを通して -
(第16回日本看護学教育学会学術集会 愛知 8月) 中村 聖子
69. 地域連携 - 患者用パス・連携パスの使用法 -
(第4回地域連携研究会 赤平市 8月) 押野 郁治
70. 脳卒中の看護
(第5回地域連携研究会 滝川市 8月) 押野 郁治
71. 緩和ケアにおける基本的な知識
(第4回第3病棟看護研究会 砂川市 8月) 八巻 忍
72. リンパ浮腫の基礎知識
(第2回第4病棟看護研究会 砂川市 8月) 森 佳子
73. 鎮痛補助薬剤とがん疼痛治療法
(第3回第4病棟看護研究会 砂川市 8月) 三浦 香織
74. A E D講習会
(第3回第7病棟看護研究会 砂川市 8月) 伊東 未来
75. 小児一次救命処置
(第8回第10病棟看護研究会 砂川市 8月) 伊波久美子
76. 人工呼吸器 (LTV) 装着患者の看護のポイント
(第9回第10病棟看護研究会 砂川市 8月) 細海加代子
77. 人工呼吸器と看護
(第10回第10病棟看護研究会 砂川市 8月) 高橋 美香
78. キネステイクによる体位変換
(第3回第11病棟看護研究会 砂川市 8月) 田村 友美
79. 院内感染と手洗いの基本的な知識
(第10回第12病棟看護研究会 砂川市 8月) 我妻 明子
80. CPD・溺水・低体温の観察のポイント
(第11回第12病棟看護研究会 砂川市 8月) 志村 智宏
81. KOMI事例報告会 - 出血傾向のある口腔ケア -
(第12回第12病棟看護研究会 砂川市 8月) 村井さやか
82. NSTの活動と基本的な知識
(第3回外来看護研究会 砂川市 8月) 平賀美智子
83. 中高年期うつ体験者の生活上の出来事に対する捉え方と対処の様相

- (第3回北海道医療大学看護福祉学部学会 石狩郡 9月) 宮地 普子
84. 地域医療連携 看護師の立場から (第4回日本神経疾患医療・福祉従事者学会 東京 9月) 押野 郁治
85. 地域連携 - 患者用パス・連携パスの使用方法 - (第6回地域連携研究会 奈井江町 9月) 押野 郁治
86. キネステティックの体験 (第1回中空知地域看護職員連携推進会施設間交流 赤平市 9月) 藤井 恵子 吉田 康紀
87. 緩和ケアにおけるリンパ浮腫マッサージの方法について (第2回第1病棟看護研究会 砂川市 9月) 森 佳子
88. 救急看護の救急救命処置技術 (第4回新人看護研究会 砂川市 9月) 伊波久美子
89. 新卒看護師の早期離職についての受け止め - 新人教育の現状と課題の検討 - (第45回全国自治体病院学会 鹿児島 10月) 中村 聖子
90. 精神疾患患者における褥瘡発生の実態とその対策 (第45回全国自治体病院学会 鹿児島 10月) 藤井 恵子
91. 院内感染の危険性と対策 (第5回第7病棟看護研究会 砂川市 10月) 鷓飼 理沙
92. 救急蘇生と処置の実際 (第5回外来看護研究会 砂川市 10月) 伊波久美子
93. 高齢者の骨折の看護 (第5回新人看護研究会 砂川市 10月) 中村 聖子
94. 組織人、専門職としての自分を振り返ってみよう (第5回新人看護研究会 砂川市 10月) 戸田 悦子
95. 腎移植前後の患者不安の軽減に向けた外来・病棟薬剤部・検査部の連携について (第25回北海道腎移植談話会 札幌市 11月) 高橋 香里 高橋 早苗
96. 境界性人格障害の支持的なかかわり方 (第15回第8病棟看護研究会 砂川市 11月) 小坂 幸子
97. 統合失調症の急性期の看護 (第16回第8病棟看護研究会 砂川市 11月) 更谷 周子
98. 破傷風の看護 (第14回第9病棟看護研究会 砂川市 11月) 斉藤 拓也
99. 網膜色素変性症について感染の視点からのスキンケア (第5回透析看護研究会 砂川市 11月) 長谷川尚子 星 尚子
100. アサーティブなコミュニケーションについて (第6回新人看護研究会 砂川市 11月) 中村 聖子
101. 看護師が行う創傷管理 (第1回第2病棟看護研究会 砂川市 12月) 松村 美沙
102. 看護介入としてのリラクゼーション (第8回第3病棟看護研究会 砂川市 12月) 藤井 恵子
103. 緩和ケアの基本的な知識 (第6回第7病棟看護研究会 砂川市 12月) 平山 景子
104. 1年間のインシデント分析と事例検討 (第17回第8病棟看護研究会 砂川市 12月) 山本由美子
105. 抗がん剤実施についての看護と留意点 (第15回第9病棟看護研究会 砂川市 12月) 森 佳子
106. ストーマの基本的な知識 (第16回第9病棟看護研究会 砂川市 12月) 斉藤 拓也
107. NSTの考え方と精神科病棟での実践

- (第17回第9病棟看護研究会 砂川市 12月) 小橋亜希子
108. 気管支喘息患者の看護 (第12回第10病棟看護研究会 砂川市 12月) 久保田めぐみ
109. 開心術の合併症を考えた観察のポイント (第13回第12病棟看護研究会 砂川市 12月) 中村 香織
110. NSTの活動と栄養状態における基本的知識 (第9回透析看護研究会 砂川市 12月) 山田 百恵
111. アサーショントレーニングの実際 (第7回新人看護研究会 砂川市 12月) 中村 聖子
112. 褥瘡の基本的知識 (第7回新人看護研究会 砂川市 12月) 細海加代子
113. KOMI記録システムにおけるグランドアセスメントについて (第7回新人看護研究会 砂川市 12月) 中村 聖子
114. 患者様の食事量アップを目指す関りを行ったことによる効果について (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 赤平 幸子
115. 人間の身体内部の自然性についての機能を発揮できるよう、生活過程を整えた看護を導きだすための過程 (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 辻口 聖奈
116. KOMI記録システムを活用して生活過程を整えることを通じて学んだこと (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 千葉 充子
117. 快の刺激と声かけにより健康な力・持てる力を活用し高めることができた事例を通して (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 藤原 将希
118. 人工股関節置換術を受けた患者様とのかかわりから (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 稲垣 裕子
119. 化学療法を受ける患者様との関り (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 大西沙久美
120. 患者様の持てる力を大切にしたい関り (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 郷子 寛美
121. 手術による不安・緊張を関りを通して緩和することができた援助 (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 佐々木万州美
122. ターミナル期にある患者様の健康な力に目を向けた援助から学んだこと (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 清水久美子
123. 五感への刺激を与える関りから学んだこと (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 貸場 千穂
124. 終末期における患者様の持てる力を生かしたケア (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 菅野 祐子
125. ICU入室患者とその家族との関りから改めて学んだこと (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 中村 淑子
126. 患者様の生命力の消耗させているものに働きかける大切さを学んだ関り (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 三浦 香織
127. 本人の意欲を支え指導確認することでの患者様の変化と信頼関係の確立 (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 渡辺 晶子
128. 生命の消耗を最小にするケア (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 滝澤 恭子
129. 持てる力を活用し、自己管理を高める援助 (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 三瓶 貴美
130. 高齢患者様の術後援助を通して (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 佐藤 笑美
131. NICUに入室した低出生体重児の母親に対する愛着形成と不安への援助

- (第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 久保田めぐみ
132. 終末期にある患者様、家族との関りから学んだケアの視点
(第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 二瓶加奈恵
133. 患者様とともに食生活について日々考える関り
(第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 栗山 恭華
134. NICUにおける児と母のかかわりへの援助
(第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 堀田 一美
135. 患者様の思いを丁寧に読み取ることを通し、得た学び
(第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 池内 仁美
136. 不安の表出を促し、今後の見通しを立てることで変化した患者様の発言・行動について
(第1回KOMIケア事例発表会 砂川市 12月) 小川 有美

【薬剤部】

学会・研究会発表

1. 静脈栄養の各種製剤の特徴と薬学的管理
(第51回NST委員会 砂川市 11月) 新崎 祐馬

【放射線科】

掲載論文

1. 脳神経外科領域におけるMDCTを用いた三次元イメージング
(Virtual Human & Analysis ポリウムデータ解析の宇宙 No.5 56~57,2006.)
茅野 伸吾 岡 雅大 三上 毅
(札幌医科大学脳神経外科) 高橋 明
2. マルチスライスCTを使いこなす 砂川市立病院におけるマルチスライスCTの運用
~ 脳神経外科領域を中心に ~
(RadFan Vol.4 No.10 46~49,2006.)
茅野 伸吾

学会・研究会発表

1. Visualization of perforating arteries by cerebral 3D-CTA and its clinical utility
(Joint Neurosurgical Convention 2006, The 5th Pan-Pacific Neurosurgery Congress Waikoloa, Hawaii, USA
January 21-27)
Shingo Kayano, Masaki Saito, Akira Takahashi
2. Visualization of perforating arteries by cerebral 3D-CTA and its clinical utility
(European Congress of Radiology 2006 Vienna, Austria March 3-7)
Shingo Kayano, Masaki Saito, Akira Takahashi
3. 頭部3D-CTAによる穿通枝の描出とその臨床的有用性
(第62回日本放射線技術学会総会学術大会 横浜市 4月) 茅野 伸吾 白鳥 祥子 宮本 利経
斉藤 正樹(九州医療センター 脳神経内
科) 高橋 明
4. CRマンモグラフィにおける線質と画像処理における基礎的検討 - 画像コントラストについて -
(第62回日本放射線技術学会総会学術大会 横浜市 4月) 叶 亮浩 松岡 志乃 橘 博巳
村田 敏宏 村井 晴彦
5. 「脂肪抑制画像でのMobiviewの1使用例」
(第8回北海道Gyroミーティング 小樽市 8月) 岡 雅大 河崎 一仁 叶 亮浩

6. ~脳動脈瘤~頭部3D-CTA画像作成のHow to
(第34回日本放射線技術学会秋季学術大会モーニングフレッシュャーズセミナー 札幌市 10月)
茅野 伸吾
7. MDCTによる脳動脈瘤機能解析への挑戦 ~第1報 心電図同期再構成法~
(第34回日本放射線技術学会秋季学術大会 札幌市 10月) 茅野 伸吾 藤井 一輝 叶 亮浩
宮本 利経 白鳥 祥子 高橋 明
8. MDCTによる脳動脈瘤機能解析への挑戦 ~第2報 シネダイナミックスキャン法~
(第34回日本放射線技術学会秋季学術大会 札幌市 10月) 茅野 伸吾 藤井 一輝 叶 亮浩
安江 猛(滝川市立病院放射線科)
宮本 利経 白鳥 祥子 高橋 明
9. CRマンモグラフィにおける線質と画像処理における基礎的検討 第2報~臨床画像コントラストについて
(第34回日本放射線技術学会秋季学術大会 札幌市 10月) 叶 亮浩 茅野 伸吾 村井 晴彦
10. 「体幹部のMRI」- 拡散強調画像を中心に -
(第44回北海道市立病院放射線技師会総会 深川市 10月) 河崎 一仁 岡 雅大 叶 亮浩
11. CRマンモグラフィにおける撮影条件と画像処理における - 考察 ~画像コントラストを中心に~
(第57回空知放射線技師会秋季宿泊研修会 南幌町 11月) 叶 亮浩
12. 頭部3D - CTAを活かす!
(第3回札幌テクノロジーフォーラム 札幌市 11月) 茅野 伸吾

【臨床検査科】

掲載論文

1. 自動分析装置を用いたICG測定
(検査と技術 Vol.34 13,2006.)
土田 康之
2. 手根管症候群と肘部管症候群における電気生理学的検査の実際と応用
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 94~97,2006.)
芦原 卓也 齊藤 正樹(九州医療センター脳神経内科) 光畑 幸美
納口 聡子 高橋 康弘 舘田 健児
小助川維摩 谷代 恵太 小幡 浩之
宮野 須一

学会・研究会発表

1. 臨床検査における「不確かさ」と「トレーサビリティ」について
(2006 第1回臨床検査科研修会 砂川市 4月) 安田亜希子
2. Bladderチェック「NMP22」について
(2006 第2回臨床検査科研修会 砂川市 5月) 阪本 奈緒
3. トロポニンI・CK-MB・BNPの基礎的検討
(2006 第3回臨床検査科研修会 砂川市 6月) 吉野 伸昭
4. 尿管上皮細胞の鑑別
(2006 第4回臨床検査科研修会 砂川市 9月) 仁木 涼子
5. 低蛋白血症と浮腫を契機に発見された、成人T細胞白血病性リンパ腫(ATLL)の一例とその血液像
(第45回全国自治体病院学会 鹿児島市 10月) 安田亜希子 新崎 人士 横内 好之
岩木 宏之
6. 腎移植後の患者不安軽減に向けた外来、病棟、薬剤部、検査部連携について
(第25回北海道腎移植談話会 札幌市 11月) 谷越 悠耶 柳瀬 雅裕 高橋 早苗
高橋 香里 新崎 祐馬
7. 剖検により確定された悪性中皮腫の1例
(2006 第5回臨床検査科研修会 砂川市 11月) 宮沢 聖博

8. 栄養指標となる検査データの見方
(第53回NST委員会 砂川市 12月)

吉野 伸昭

【リハビリテーション科】

掲載論文

1. 超急性期リハビリテーションの取り組み ~早期退院を目指して~
(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 98~100,2006.)

三枝 幹生 新関 友博 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科) 柴田 和則
本間 敏美 高橋 明

学会・研究会発表

1. The super acute rehabilitation after an early operation in subarachnoid hemorrhage.
(Joint Neurosurgical Convention 2006 Hawaii, USA. January)

Mikio Saigusa Tomohiro Niizeki Masaki Saitoh
Kazunori Shibata Toshimi Honma Akira Takahashi

2. 地域における病診連携への取り組み ~リハビリテーションの立場から~
(平成18年度 第1回北海道理学療法士会空知支部研修会 岩見沢市 1月)

三枝 幹生 新関 友博

3. クモ膜下出血術後における超急性期リハビリテーションの試み
(第41回日本理学療法学会 前橋市 5月)

三枝 幹生 新関 友博 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
柴田 和則 本間 敏美 高橋 明

4. 身体計測の方法
(第42回NST委員会 砂川市 6月)

禎島 利奈

5. クモ膜下出血術後における超急性期理学療法
(第9回日本病院脳神経外科学会 新潟 7月)

三枝 幹生 新関 友博 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
柴田 和則 本間 敏美 高橋 明

6. クモ膜下出血術後超急性期からの理学療法
(第4回日本神経疾患医療・福祉従事者学会 東京 9月)

三枝 幹生 新関 友博 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
柴田 和則 本間 敏美 高橋 明

7. 摂食嚥下障害とは~あなたにしかできないアプローチ編~
(第49回NST委員会 砂川市 10月)

加藤 和彦

8. クモ膜下出血術後、脳室・脳槽ドレナージ管理下での立位・歩行
(第57回北海道理学療法学会 岩見沢市 11月)

三枝 幹生 新関 友博 齊藤 正樹
(九州医療センター脳神経内科)
柴田 和則 本間 敏美 高橋 明

【臨床工学科】

学会・研究会発表

1. J - DOPPS研究会年次報告会について
(第1回臨床工学科透析室合同研修会 砂川市 4月)

三浦 良一

2. APS - SAの性能評価
(第51回日本透析医学会学術集会 横浜市 6月)

足達 勇 白川 和樹 佐々木 勇人
中鉢 純 三浦 良一 中島 孝治

3. 透析液清浄化基準標準化の必要性
(第1回臨床工学科研究会 砂川市 7月)

足達 勇

4. 統計調査から見たわが国の慢性透析療法の現況

(第2回臨床工学科研究会 砂川市 7月)

中島 孝治

5. 血栓性血小板減少性紫斑病患者に対する血漿交換療法の経験

(第45回全国自治体病院学会 鹿児島市 10月)

三浦 良一 白川 和樹 足達 勇
佐々木勇人 中鉢 純 中島 孝治

6. 日本HDF研究会 AFB療法について

(第3回臨床工学科研究会 砂川市 12月)

足達 勇

7. ABO血液型不適合腎移植前の抗A抗B抗体除去

(第4回臨床工学科研究会 砂川市 12月)

三浦 良一

8. 腎移植前の血漿交換について

(第5回臨床工学科研究会 砂川市 12月)

佐々木勇人

【栄養科】

学会・研究会発表

1. NST実践マニュアル

(第35回NST委員会 砂川市 2月)

野田 順

2. NST実践マニュアル

(第36回NST委員会 砂川市 3月)

佐々木千春

3. NST実践マニュアル

(第37回NST委員会 砂川市 3月)

若林千恵美

4. 「栄養サポートの実際」

(第41回NST委員会 砂川市 5月)

関澤 貞子

5. NST稼働までの取り組み

(第45回全国自治体病院学会 鹿児島 10月)

関澤 貞子 野田 順
若林千恵美 渡部 直己

【事務局】

掲載論文

1. 平成17年当院における時間外受診者状況及び救急車搬入搬出状況

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 134 ~ 137,2006.)

村上 達哉 山川 和弘 梶浦 孝

2. 最近5年間の砂川市立病院事業収支状況

(砂川市立病院医学雑誌 23巻第1号 138 ~ 143,2006.)

堀下 直樹 森田 一巳